

家庭用蓄電システム トライブリッド蓄電システム[®]

パワーコンディショナ + 蓄電池ユニット (4 kWh)	:	ESS-T1S1
パワーコンディショナ + 蓄電池ユニット (8 kWh)	:	ESS-T1M1
パワーコンディショナのみ	:	ESS-T1
蓄電池ユニット	:	ESS-BS
室内リモコン	:	ESS-R5
増設蓄電池ユニット(8 kWh)	:	ESS-BM

このたびは、ニチコン トライブリッド蓄電システムをお買い上げいただきまして
まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みいただいたうえで、正しくお使いください。

また、保証書とともに大切に保管してください。

本書はトライブリッド蓄電システム パワーコンディショナ+蓄電池ユニット(4kWh)、パワー
コンディショナのみの内容を記述します。

パワーコンディショナのみ場合は、蓄電池ユニットに関する機能は利用できません。



V2Hスタンドについては、V2Hスタンド同梱の取扱説明書を参照してください。

パワーコンディショナ・蓄電池ユニット 取扱説明書

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- お読みになられた後も、ご利用される方がいつでも参照できるところに必ず保管してください。

ここに示した事項は、△警告 △注意に区分しています。








 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される事項。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が重傷を負う危険が想定される事項、および物的損害のみの発生が想定される事項。

絵表示については次のような意味があります。

	* 必ずアース線を接続 安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続して接地をとるように指示する表示		* 感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告
	* 一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告		* 分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告
	* 一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示		

警告

共通

	取付工事・修理・移動・再設置・破棄はお買い上げの販売会社に依頼する 不備があった場合、感電や火災のおそれがあります。		非常時兼用コンセントに金属、紙、水などを差し込んだり、中に入れたりしない 火災・感電・故障のおそれがあります。
	本製品（オプション品含む）を分解・改造しない 感電や傷害を負うおそれがあります。		非常時兼用コンセントには、灯油やガスを用いた暖房機器、電熱機器など、火災を引き起こす可能性のあるものは接続しない 災害時に火災の原因になることがあります。
	子供を近づけない 感電・やけど・火災のおそれがあります。		非常時兼用コンセントには、途中で電源が切れると困る家電製品は接続しない 夜間や曇りなどで太陽光発電電力または蓄電池ユニットの電力が不足すると蓄電システムは停止し、家電製品の電源が切れますので、パソコンなどのデータが破損するおそれがあります。また、不安定な電源なので生命にかかわる機器（医療機器など）には絶対に使用しないでください。
	災害などにより本蓄電システムが浸水、水没、変形、破損、転倒などした場合、本蓄電システムに近づかない 感電、有害ガスの発生、発熱、発煙、発火、蓄電池からの電解液が漏れるなどの危険がありますので、「蓄電システムを停止させる場合」に従って蓄電システムを停止させ、すみやかにお買い上げの販売会社にご連絡ください。		

 **警告**



蹴ったりして強い衝撃を与えない
変形により短絡し、発熱・発火・破裂・火災のおそれがあります。



吸排気口などに物（金属、紙、水など）を差し込んだり中に入れたりしない
火災・感電・故障の原因となります。



蓄電池ユニット、パワーコンディショナのフロントパネルなど機器を開けない
内部に電圧の高い部分があります。感電のおそれがあります。



お子様に操作させない
感電、やけど、火災のおそれがあります。



蓄電池ユニット、パワーコンディショナなど本製品（オプション品含む）の上に乗ったり、座ったり、ぶらさがったり、物を置かない
機器が変形・脱落し、けが・感電・故障のおそれがあります。



蓄電池ユニット、パワーコンディショナの近くに可燃性ガスや引火物を置かない（60 cm 以内）
電気部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火するおそれがあります。



煙が出る、変なにおいがする場合は、本製品には近づかず、室内リモコンの各種設定画面上の「運転停止」をタッチし、分電盤の蓄電システム用ブレーカを「OFF」、切替スイッチを「系統」にする
そのまま使用すると、火災の原因となります。すみやかに販売会社にご連絡ください。



蓄電池に高圧、大容量の電気が蓄えられているので、取り扱いに注意する
分電盤の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしても感電や傷害を負うおそれがあります。十分注意してください。



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）を使用している方は、充電中、給電中の本製品に近づかない
機器本体からの電磁波が、ペースメーカーおよび ICD の動作に一時的な影響を与える場合があります。

⚠ 注意



非常時兼用コンセントでは、負荷によって使用できないものがある
ポンプやモーターなど起動時に大きな電力を必要とするものは使用しないでください。



アース工事を行う (C種接地工事 接地抵抗500Ω以内)
アースが不完全な場合、感電のおそれがあります。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アース工事については必ずお買い上げの販売会社にご相談ください。



シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない
製品の変色原因となります。



本システムの近くでテレビやラジオ、無線などを使用しない
テレビの画面が乱れる、ラジオ、無線に雑音が入ることがあります。受信している電波が弱い場所では、電磁障害を受けるおそれがあります。



パワーコンディショナの吸排気口を塞いだり吸排気口付近に荷物を置いたりしない
温度上昇により蓄電システムが自動停止する可能性があります。



ご利用中に室内リモコンの電源スイッチを OFF にしない
蓄電池が充電されないため使用できなくなり、電池交換（有償）となる可能性があります。



室内リモコンをぬれた手でさわる、ぬれた布でふくなどしない
感電の原因となることがあります。



蓄電池ユニット、パワーコンディショナの近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない
引火し、やけど・火災の原因となることがあります。



取扱説明書を熟読する
ご使用される前には取扱説明書や製品の注意書きをよくお読みになり、正しくご使用ください。



非常時兼用コンセントに接続する機器 (AC100V) は、消費電力 1500W を目安に接続する
機器の故障原因となることがあります。



本システムや太陽光発電パネルの配線などから発生する電氣的雑音が、近隣のアマチュア無線通信やラジオなどの受信に影響を与えることがあります。



点検コードが連続的に表示されている状態のまま放置しない
蓄電池が充電されないため使用できなくなり、電池交換（有償）となる可能性があります。



ソフトウェアの更新が室内リモコンの画面に表示されたら、必ずすぐに更新する
ソフトウェアの更新にはインターネットへの接続が必要です。



落雪などでパワーコンディショナ吸排気口が塞がらないよう設置状況により防雪・雪囲いなどの処置を行う
温度上昇により蓄電システムが自動停止する可能性があります。



蓄電池ユニットの周りに毛布など置かないようにし、離隔距離を確保する
蓄電池が高温になり、動作が停止する、または寿命が短くなる可能性があります。



廃棄処理・リサイクルについて
使用后、すみやかに廃棄してください。廃棄する場合は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。廃棄費用はお客様負担となります。

もくじ

もしもの安心、いつもの節電	8
取り扱い上のお願ひ	11
外形寸法図 / 各部の名称	13
室内リモコン各部の名称とはたらき	
室内リモコンの本体について	15
室内リモコンの表示について	16
通常時の使い方	
蓄電池ユニットの各運転モードについて（連系時）	
自動運転モード	20
手動運転モード	21
蓄電池ユニットの運転モードを選ぶ	22
蓄電池ユニットの充放電時刻を設定する	24
蓄電池ユニットの非常時（停電時）の各設定について	
非常時運転モード	26
非常時安心設定	26
蓄電池ユニットの非常時（停電時）の各設定を選ぶ	27
各グラフについて	28
グラフの表示方法	
グラフを表示する	29
グラフ期間を変更する	30
グラフの年、月、日を設定して変更する（日間表示の場合）	31
各種設定項目について	32
各種設定項目を選ぶ	33
点検コード・発電抑制の履歴を確認する	34
登録情報を確認・変更する	36
太陽光発電設定を確認する	38

停電時の使い方（自立運転）

停電時の使い方（自立運転） 39

復電時の操作 39

ネットワークの設定

ネットワークの設定をする

ネットワークを使用する場合（有線） 40

ネットワークを使用する場合（無線） 41

ネットワークを使用しない場合 42

ネットワーク接続の通信状態を確認する 43

ニチコンのネットワークサービス 44

日時の設定 44

こんなときは

ブザー音や異音について

ブザーが鳴ったとき 45

機器から発生する音について 45

動作がおかしいと感じたとき

アンペアブレーカが頻繁に落ちる場合 45

契約電力を変更する場合 45

非常時兼用コンセントのブレーカが頻繁に落ちる場合 45

非常時兼用コンセントが使用できない場合 45

室内リモコンの画面が表示されない場合 45

100%まで充電できない場合 46

停電時に充放電できない場合 46

停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合 46

その他ご使用に関する操作方法等

停電時、安全を確認してから非常時兼用コンセントをご利用になりたい場合 47

長期不在の場合 48

蓄電システムを停止させる場合 49

蓄電システムを起動させる場合 51

蓄電システムを廃棄する場合 52

風水害または地震などの対応 52

点検コード (BExxx、BFxxx) が表示されたとき	
点検コードの内容と処置	53
点検コード「BF405」について	54
点検コード「BF404」について	54
点検コード (BCxxx) が表示されたとき	55
お知らせリモコンメッセージと内容.....	55
室内リモコンが動かなくなった時	56
蓄電池のメンテナンスモードについて.....	57
ソフトウェアの更新	
ソフトウェアの更新方法.....	59
更新中に停電した場合.....	60
保証とアフターサービス	
保証について	61
アフターサービスについて	61
補助金に関するご注意	
購入時に補助金の交付を受けた方	62
遠隔出力制御ルールに関するご注意.....	62
非常時兼用コンセントに接続できる家電製品	63
仕様	
パワーコンディショナ ESS-T1	67
蓄電池ユニット ESS-BS	68
増設蓄電池ユニット ESS-BM	68
室内リモコン ESS-R5	68
ソフトウェアライセンスについて.....	69
増設設置の可能期間	70

もしもの安心、いつもの節電

本製品は、住宅の屋根などに設置した太陽光パネルと蓄電池、そしてV2Hスタンドと車両を併用して、暮らしに必要な電気を供給する「トライブリッド蓄電システム[®]」です。

トライブリッド蓄電システム[®]

太陽光発電、蓄電池、車両の3つの電源を利用するシステムの総称で、ニチコンの登録商標です。

本書は、太陽光+蓄電池のシステム、太陽光のみシステムの内容を記述します。V2Hスタンドについては、V2Hスタンド同梱の取扱説明書を参照してください。

本書で用いる用語は下記のとおりです。

- 車両：電気自動車やプラグインハイブリッド自動車など、駆動用に蓄電池を備えた自動車
- 外付け太陽光発電：トライブリッド蓄電システムのパワーコンディショナに直接接続していない太陽光発電
- 太陽光発電：トライブリッド蓄電システムと外付け太陽光発電を合わせた、住宅に設置された太陽光発電システム
- 電力会社から購入する商用電力

メモ

外付け太陽光発電は、トライブリッド蓄電システムとは別の太陽光パワーコンディショナが必要です。

多彩な太陽光発電と連携。蓄電池と太陽光のパワーコンディショナを一体化。

パワーコンディショナ内に蓄電池の制御だけでなく、太陽光発電用のパワーコンディショナの機能を内蔵しており、幅広いメーカーの太陽光発電パネルを直接接続することができます。

太陽光発電パネルで発電した直流電力を、直接蓄電池ユニットへの充電に利用することができるため、効率のよい電力利用が可能です。また、余剰が発生した場合は、交流変換し、電力会社に売電することもできる蓄電システムです。

メモ

- 太陽光の発電電力に対してご家庭の消費電力が大きい場合は、蓄電池への充電電力が確保できない場合があります。
- 太陽光発電最中に、家庭負荷急変や、車両との接続状態によっては、太陽光発電量が一時的に低下する場合があります。

もしもの停電時も「安心」！

本システムは非常時に備えて電力をバックアップします。

突然の停電でも、非常時兼用コンセントに接続している家電製品は、そのままご利用いただけます。

メモ

- 自動切り替え時に、電力供給が一瞬途切れます。非常時兼用コンセントに接続している家電製品の仕様によっては電源が切れますので、その時は電源を入れ直してください。電源が切れると困る機器は、非常時兼用コンセントに接続しないでください。
- 蓄電池ユニットがない場合は、太陽光が発電している場合に限り非常時兼用コンセントをご利用いただけます。

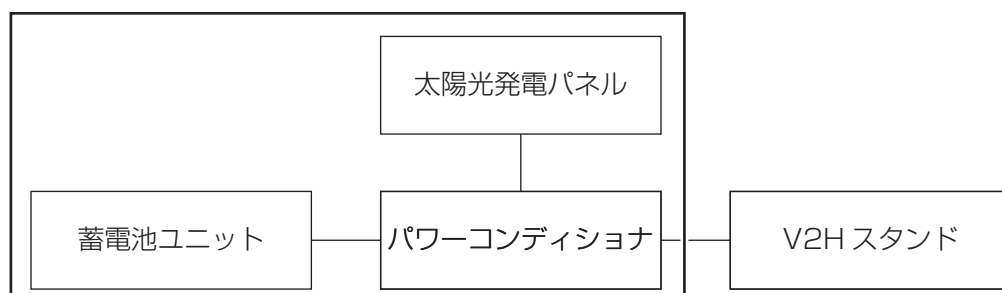
- 昼間の晴天時は、太陽光発電と蓄電池ユニットを併用して電力供給します。
- 雨や曇りの日、夜間の停電でも電力を蓄えていた蓄電池ユニットから電力を供給します。
- AC100Vで、消費電力1500Wを目安に家電製品をご使用できます。
(定格出力：蓄電池のみの場合：最大2.0kW、3kW以上太陽光発電している場合：最大3.0kW)

いつもの生活では「節約」！

昼間の太陽光発電電力を夜間に活用することで、エネルギーの自給自足に貢献します。

割安な深夜電力時間帯に充電、昼間の電力使用量ピーク時間帯に放電すれば、電気料金の節約になります。

日常のご使用には、ご家庭の環境やお好みに合わせた運転モードを選ぶことができます。(20ページ参照)



※ V2Hスタンドについては、V2Hスタンド同梱の取扱説明書を参照してください。

この製品は次のような特長により便利に活用できます。

■ 室内リモコンを標準で装備

停電時でも操作できる室内リモコンを装備しています。

室内リモコンの画面で太陽光の発電電力、充電電力および放電電力が一目で分かります。

タッチパネルを採用しており、画面を見ながらボタンにタッチするだけで、簡単に操作できます。

■ 見守りサービス

お客様が長期にわたり安心してご利用いただけるよう、インターネット経由で運転状態を無償で見守ります。

詳しくは、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。

📝 メモ

- 本製品は必ずインターネットに接続してください。
- 製品のソフトウェアを最新にするために、自動的にソフトウェアの更新を行うことがあります。

■ 安心の 10 年保証

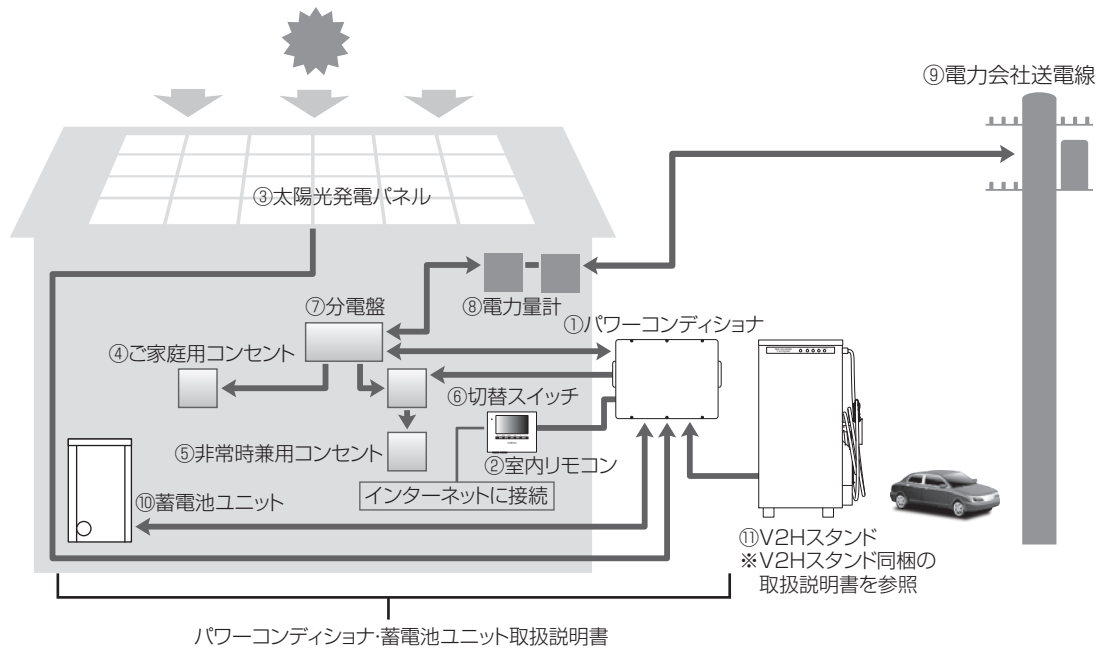
蓄電池ユニットは 10 年間の保証付きで、万が一のときも安心してご利用いただけます。

詳しくは保証書をご確認ください。

📝 メモ

- 室内リモコンは 5 年保証となります。
- パワーコンディショナは 15 年保証となります。

構成例



1. パワーコンディショナ

太陽光パネルの直接接続を可能にする太陽光発電用パワーコンディショナ・蓄電池ユニット用パワーコンディショナ機能を内蔵しています。最大3系統の太陽光発電回路を直接接続できます。

太陽光発電またはシステムの電力を蓄電池ユニットに充電することができます。必要に応じて蓄えた電力を放電します。太陽光発電による余剰電力を電力会社へ送ります。(売電)

2. 室内リモコン

表示画面を備えた操作パネルです。充電・放電状態の表示や各運転モードの設定が行えます。

3. 太陽光発電パネル

パワーコンディショナに直接接続し、太陽光を受けて発電します。

4. ご家庭用コンセント

一般負荷用の電源コンセントです。通常時は本システムから電気を給電することができます。

5. 非常時兼用コンセント

停電時、本システムから電気を給電することができます。通常時も利用可能です。

6. 切替スイッチ

非常時兼用コンセントへの電力供給元を、本システムと系統とで、切り替えるスイッチです。

7. 分電盤

契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ、分岐ブレーカおよび本蓄電システム用ブレーカを内蔵しています。

8. 電力量計

買電用と売電用の2種類があり、電力会社から購入した電力(買電)と、電力会社に売る余剰電力(売電)を計量します。

9. 電力会社送電線

不足電力を電力会社から購入し(買電)、太陽光発電による余剰電力を電力会社へ送ります(売電)。

10. 蓄電池ユニット

リチウムイオン蓄電池とそれを監視コントロールするバッテリーマネジメントシステムで構成されています。パワーコンディショナを介して電力を蓄える、または蓄えた電力を放電します。

11. V2Hスタンド

パワーコンディショナを介して、車両への充電、車両からの放電を行うための接続機器です。

※充電：太陽光発電の電力または系統から蓄電池に電力を蓄えること。

※放電：蓄電池に蓄えている電力を供給すること。

※給電：太陽光発電の電力、蓄電池に蓄えられた電力をご家庭に供給すること。

取り扱い上のお願い

共通

■次のような場所には取り付けない

パワーコンディショナ

- 標高 2000 m より高いところ
- 岩礁隣接地域
- 重塩害地域
- 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
- 振動、衝撃の影響が大きいところ
- 油蒸気のあるところ
- 浸水のおそれがあるところ
- 電界の影響が大きいところ
- 車両と接触するおそれや、排ガスが直接あたるところ
- 風通しが悪いところ
- 販売会社で決められていないところ
- 結露および氷結のあるところ
- 次の温度範囲以外のあるところでは、動作を停止します。
温度：- 20℃～+ 40℃
(温度範囲に戻ると、自動復帰します)

室内リモコン・蓄電池ユニット

- 屋外
- 温度変化が激しいところ
- 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
- 振動、衝撃の影響が大きいところ
- 水蒸気、油蒸気、雨水、結露、氷結のあるところ
- 電界の影響が大きいところ
- 直射日光が当たるところ
- 次の温度範囲以外のあるところ
温度：0℃～+ 40℃ (室内リモコン)
0℃～+ 40℃ (蓄電池ユニット)
(温度範囲に戻ると、自動復帰します)

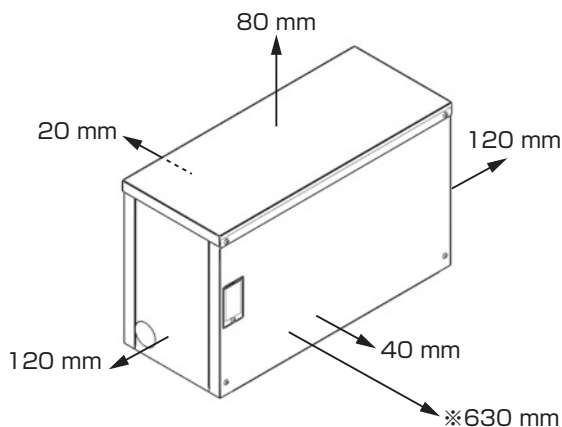


最低離隔距離

蓄電池ユニット、パワーコンディショナの周囲は、排熱とメンテナンスのために、以下の寸法以上の距離を確保してください。

<蓄電池ユニット>

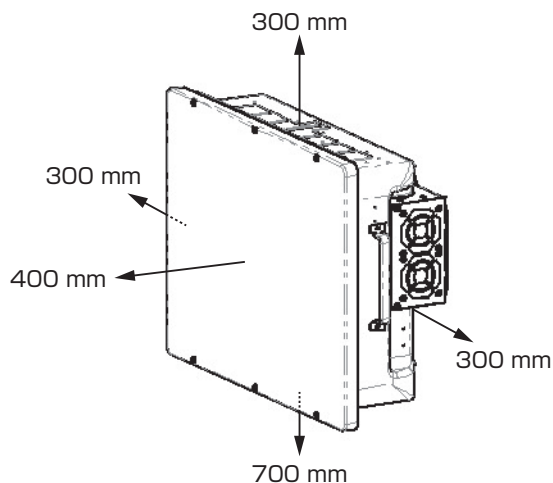
- 左右 : それぞれ 120 mm
- 上 : 80 mm
- 背面 : 20 mm
- 前 : 40 mm



※ 屋内設置工事時またはメンテナンス時には、前側に 630 mm の空間が必要です。

<パワーコンディショナ>

- 左右 : それぞれ 300 mm
- 上 : 300 mm
- 前 : 400 mm
- 下 : 700 mm



塩害の影響による設置可否について

パワーコンディショナが設置可能な場所を下表のように定めています。

パワーコンディショナは、「沖縄・離島以外の地域」、かつ、重塩害以外の場所であれば設置可能です。

地域による区分 塩害レベルによる区分	沖縄・離島	沖縄・離島以外の地域
重塩害	×	×
重塩害以外	×	○

○：設置可、×：設置不可

地域による区分について

本書は、地域を「沖縄・離島」と「沖縄・離島以外の地域」で区分しています。

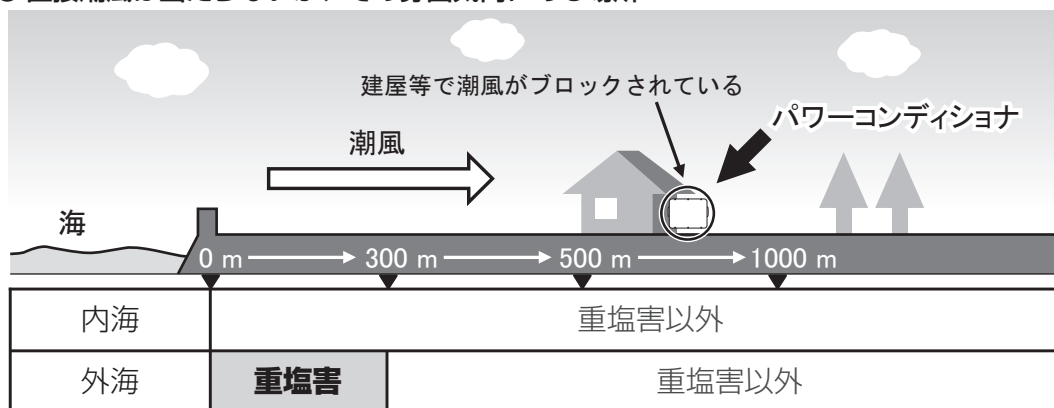
- 離島：本土から離れ、四方を海で囲まれている島

※内海に浮かぶ島、淡路島は除く。

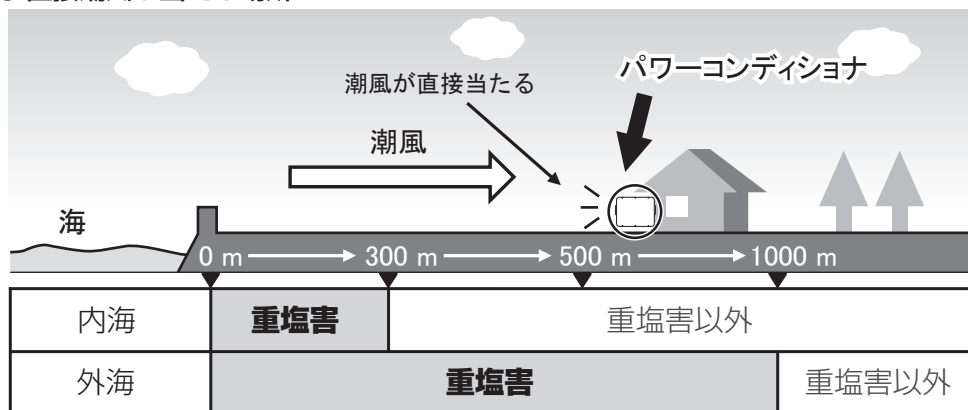
塩害レベルによる区分について

本書は、塩害レベルを下記のように「重塩害」と「重塩害以外」で区分しています。

- 直接潮風は当たらないが、その雰囲気内にある場所



- 直接潮風が当たる場所

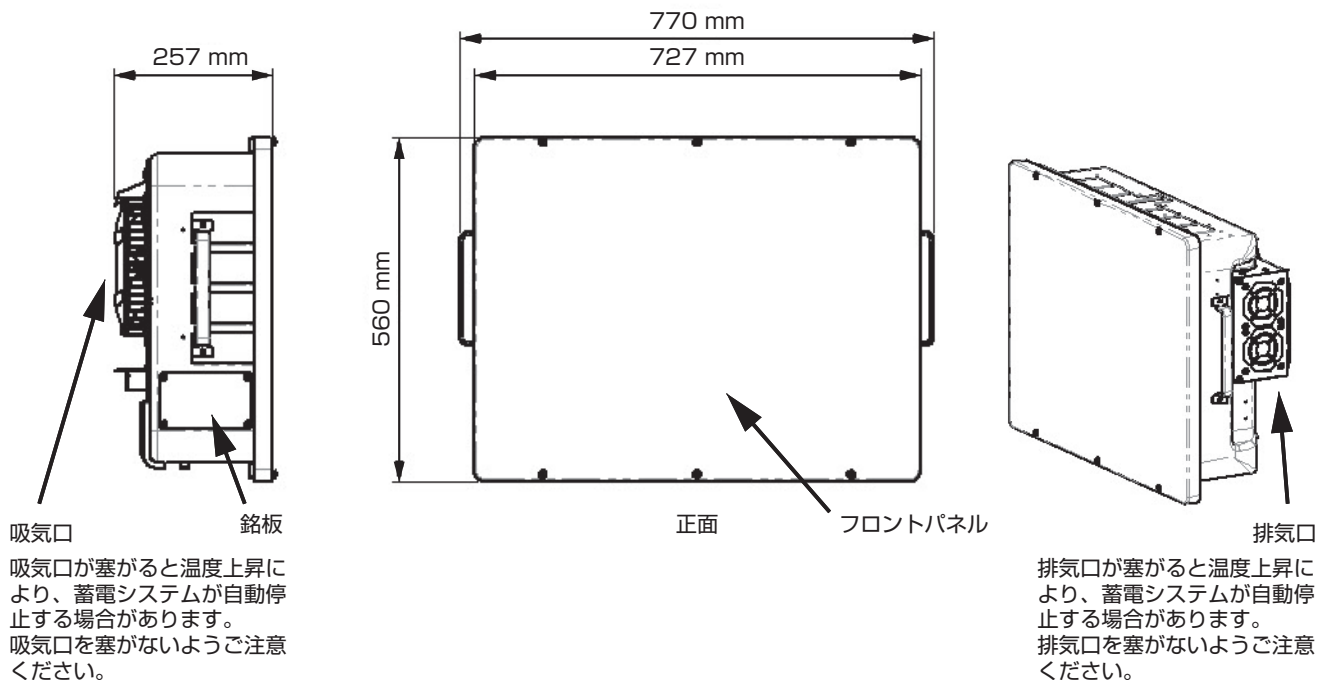


※内海：瀬戸内海、東京湾、伊勢湾

外海：内海以外の海

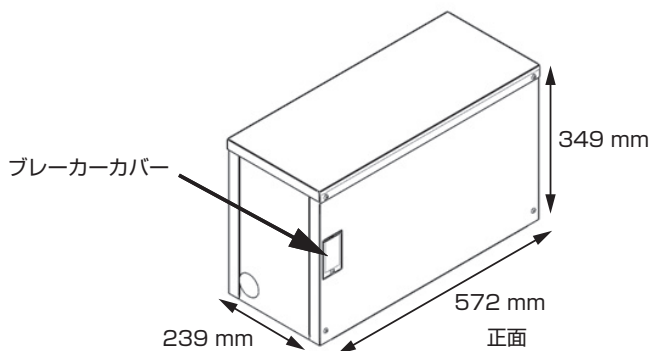
外形寸法図 / 各部の名称

■ パワーコンディショナ



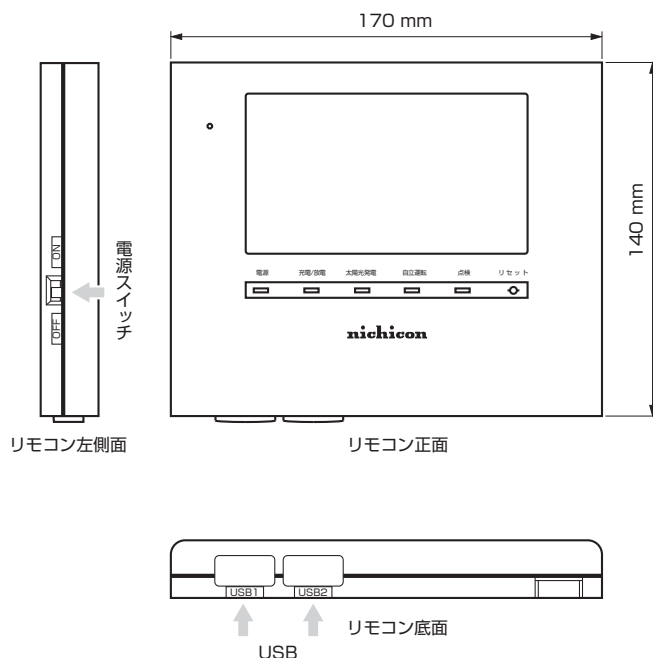
外形寸法図 / 各部の名称

■ 蓄電池ユニット



■ 室内リモコン

※室内リモコンの各部の名称とはたらきは、15 ページを参照してください。

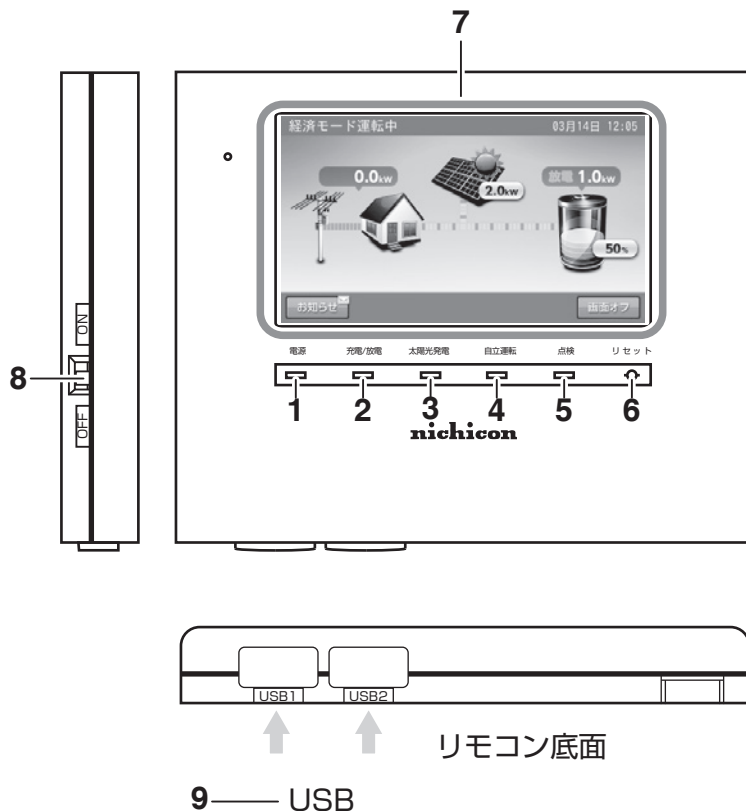


室内リモコン各部の名称とはたらき

室内リモコンの本体について

本製品は、室内リモコンの画面をタッチしてさまざまな操作を行います。

※製品の構成や外付け太陽光パワーコンディショナの接続状況により、画面構成が異なります。



蓄電池ユニットがない場合、蓄電池アイコンは表示されません。

室内リモコン各部の名称とはたらき

- 1. 電源ランプ**
室内リモコン ON 時に点灯します。
- 2. 充電 / 放電ランプ**
運転状態を表示します。
緑：充電 / 放電
消灯：待機 / 停止
※蓄電池ユニットがなく、太陽光パネルしか接続していない場合は、常に消灯となります。
- 3. 太陽光発電ランプ**
太陽光発電中に点灯します。
- 4. 自立運転ランプ**
自立運転中に点灯します。
- 5. 点検ランプ**
点検コード発生中に点滅します。(53 ページ)
- 6. リセットボタン**
室内リモコンのマイコンをリセットします。
- 7. 画面**
表示画面を兼ねたタッチパネルです。
充電・放電状態の表示や各運転モードを設定します。
- 8. 電源スイッチ (スライドスイッチ)**
室内リモコンの電源を ON/OFF します。
- 9. USB**
通常使いません。
無線 LAN 利用時には、無線 LAN 子機を接続します。

メモ

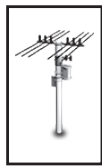
- 点検ランプが点滅しているときは、室内リモコンの画面に点検コードが表示されます。「点検コード (BExxx、BFxxx) が表示されたとき」(53 ページ) に従って処置してください。
- 蓄電システム運転中に、電源スイッチを「OFF」にしないでください。蓄電システムを停止したい場合は、「蓄電システムを停止させる場合」(49 ページ) の操作を行ってください。

室内リモコンの表示について

■例：ホーム画面～その1～

電柱アイコン

系統（電力会社）を意味します。



系統状態

買電、売電の状態を表示します。

売買電電力※3

売買電電力を表示します。
※100 W未満の場合は、0.0 kWと表示します。

家アイコン

ご家庭内を意味します。
タッチすると、各種設定/グラフに関する設定画面が開きます。(33 ページ)



運転モード

『経済モード運転中』など、現在動作している蓄電池ユニットの運転モードを表示します。
※車両の運転モードは反映しません。

経済モード運転中

出力制御中 99%

売電 1.0kW

3.0kW

お知らせ

お知らせボタン

ボタンをタッチすると、お知らせリストが開きます。

表示あり  未読がある場合の表示です。



表示なし  未読がない場合の表示です。

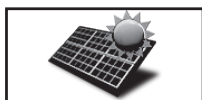


太陽光パネルアイコン

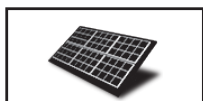
タッチすると、太陽光に関する設定画面が開きます。(38 ページ)

太陽アイコン

太陽表示あり
内部の太陽光発電または
外付け太陽光発電電力が
100 W程度より大きい場合に
表示します。



太陽表示なし
内部の太陽光発電または
外付け太陽光発電電力が
小さい、または発電して
いない場合は、表示しません。



発電電力※3

内部の太陽光発電電力を表示します。
合算時は、内部の太陽光発電電力、
外付け太陽光発電電力を合計して
表示します。

蓄電池アイコン

放電時：緑、充電時：橙
待機中および停止中または充放電電力が
100 Wより低い場合は、直前の色を表示します。
タッチすると、蓄電池に関する設定画面が開きます。
(22 ページ)



蓄電池状態

放電：100 Wより大きい電力を蓄電池から放電している場合
充電：100 Wより大きい電力を蓄電池に充電している場合
待機：充放電を行っていない場合
充放電電力が100 W未満の場合
表示なし：停止中

蓄電池充放電電力※3

蓄電池の充放電電力を表示します。
※100 W未満の場合は、0.0 kWと表示します。

蓄電池残量単位【%】

蓄電池の残量を表示します。
一度使い切った電池がしばらくすると
使える場合があるように、蓄電池特性により、
しばらくすると、表示が変わることがあります。
目安としてご利用ください。

02月06日 16:53

充電 2.0kW



50%

画面オフ

画面オフボタン

ボタンをタッチすると、画面がオフします。
画面オフ時は、液晶画面のどこかをタッチ
することで、画面表示が戻ります。

画面オフ

■例：ホーム画面～その2～

電圧上昇抑制アイコン

環境起因により電力会社の電圧が上昇し、抑制が働いています。
売電量が減る場合があります。



リモートアイコン

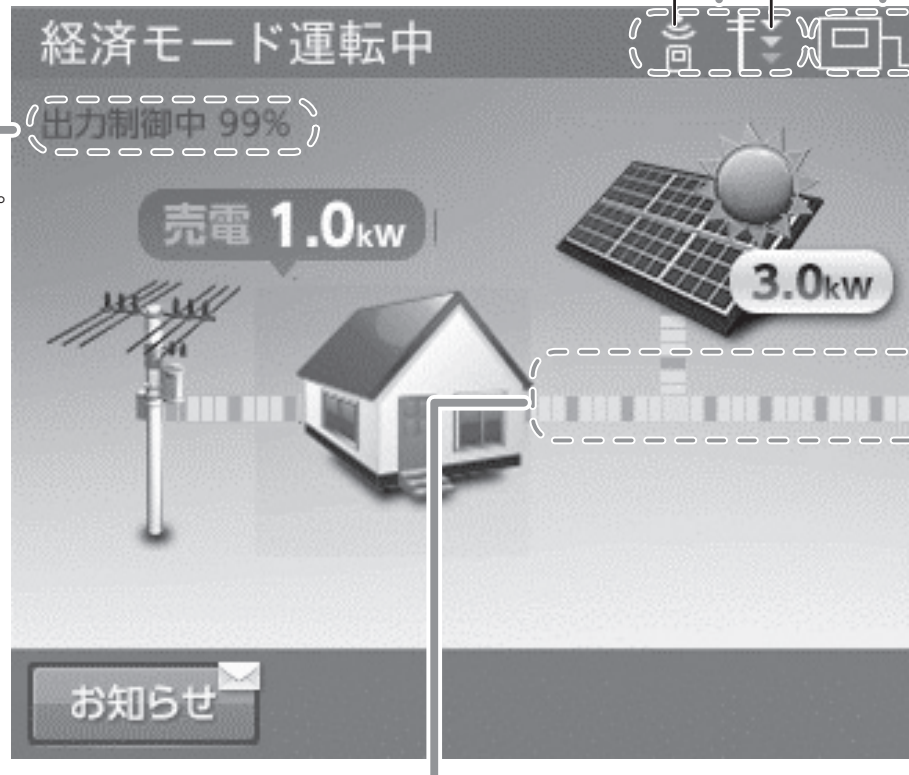
ECHONET Lite※1通信中です。
HEMS※2など外部からの指示により運転しています。



非表示：ECHONET Lite※1通信状態ではありません。

出力制御表示

遠隔出力制御ルールに基づいて、
電力会社による太陽光出力コントロール中です。
売電量が減る場合があります。



電力の流れ

各機器間の電力の流れのイメージを破線で表示します。

- ・破線非表示：100 W未満
- ・動きの遅い破線：100 W以上
- ・動きの速い破線：1 kW以上

※電力が小さい（100 W未満）場合でも、
センサーの誤差などにより、電力の流れが
表示される場合があります。

※1：「ECHONET Lite」「エコネットライト」は、エコネットコンソーシアムの登録商標です。

※2：「HEMS」は、Home Energy Management Systemの略です。家庭で使うエネルギーを賢く管理するシステムです。

※3：他の機器（HEMSなど）の値とは異なる場合があります。目安としてご利用ください。

アンテナアイコン

室内リモコンと宅内ネットワークとの接続状況を示します。



有線LAN使用時に、ルーターと正常に接続している場合の表示です。
※ルーターと接続していても、インターネットと接続しているとは限りません。



有線LAN使用時に、ルーターと接続していない場合の表示です。

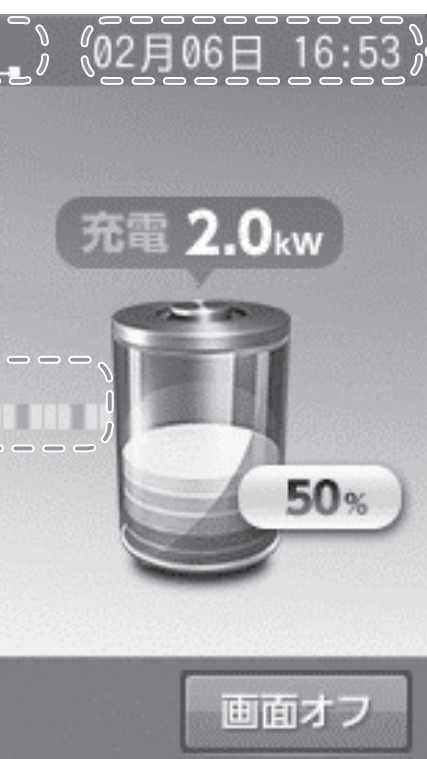


無線LAN使用時に、ルーターと正常に接続している場合の表示です。
※ルーターと接続していても、インターネットと接続しているとは限りません。
※ルーターとの電波強度は、4段階で表示します。



無線LAN使用時に、ルーターと接続していない場合の表示です。

非表示：ネットワーク設定が[使用しない]の場合は、表示しません。



現在日時

室内リモコンに設定している現在日時を表示します。

※ネットワーク接続していない場合は、ご利用中に少しずつずれが発生しますので、定期的に時刻の設定を行ってください。(44 ページ)

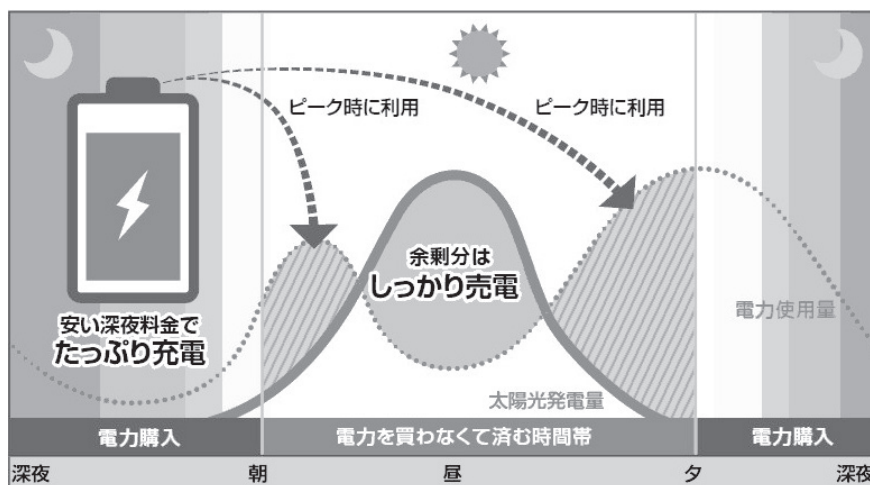
通常時の使い方

蓄電池ユニットの各運転モードについて（連系時）

自動運転モード

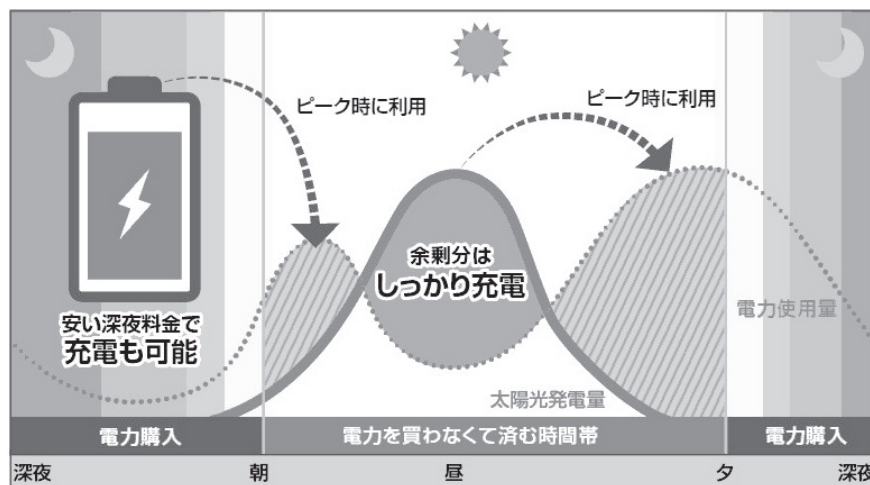
経済モード

昼間、太陽光発電電力を家庭内負荷に供給し、余剰分を売電することで、電気料金の節約が可能なモードです。また、系統からの充電を電気料金が割安な深夜時間帯に行い、蓄電池ユニットからの放電を電気料金が割高な昼間に行うことで、電気料金の節約が可能になります。太陽光発電電力が不足している場合や発電電力がない場合は、蓄電池ユニットから放電します。なお、売電中は蓄電池ユニットから放電しません。



グリーンモード

昼間、太陽光発電電力を家庭内負荷に利用し、余剰分は蓄電池ユニットに充電します。夜と朝に使うことで、電力会社からの購入を減らすモードです。太陽光発電電力が不足している場合や発電電力がない場合は、蓄電池ユニットから放電します。蓄電池ユニットが満充電の場合は、余剰分を売電します。なお、売電中は蓄電池ユニットから放電しません。また、外付け太陽光発電の余剰電力を充電することはできません。



メモ

- 太陽光発電がない場合は、経済モードおよびグリーンモードは同じ運転制御になります。
- 充放電時間帯の設定については、「蓄電池ユニットの充放電時刻を設定する」(24 ページ)を参照してください。

手動運転モード

充電

時間帯に関係なく、蓄電池ユニットへ充電を行うモードです。

太陽光発電電力を優先的に使用して蓄電池ユニットへの充電を行います。太陽光発電電力が充電電力を上回っている場合は、家庭内負荷へ電力を供給します。さらに太陽光発電電力が、充電電力と家庭内負荷への両方の電力供給を上回った場合は、余剰分を売電します。

太陽光発電から蓄電池ユニットへの充電電力が不足する場合は、不足分を系統から充電します。

蓄電池ユニットが満充電になり次第、充電動作を終了します。動作終了後は待機状態になります。

※蓄電池の温度が 0℃～10℃前後、40℃～55℃の場合には、蓄電池保護のため、充電電力が低下します。

また、0℃を下回ると待機状態となります。55℃を超えると点検コードを発報し、停止しますが、温度が使用範囲内に戻ると自動的に復帰します。

放電

時間帯に関係なく、蓄電池ユニットが放電を行うモードです。

太陽光発電電力が家庭内負荷より少ない場合に、不足分を蓄電池ユニットから放電します。太陽光発電電力が家庭内負荷より大きい場合は、蓄電池ユニットからの放電はできません。動作終了後は待機状態になります。太陽光発電電力が、家庭内負荷への電力供給を上回る場合は、蓄電池ユニットの放電を停止し、余剰分の電力を売電します。

※蓄電池の温度が 0℃を下回ると待機状態となります。55℃を超えると点検コードを発報し、停止しますが、温度が使用範囲内に戻ると自動的に復帰します。

待機

時間帯に関係なく、蓄電池ユニットの充放電を行わないモードです。なお、太陽光の発電は行います。

メモ

● 室内リモコンの電源 OFF 後、再度室内リモコンを起動した場合は、直前に設定されていた自動運転モードに切り替わります。

※蓄電池が使用できなくなることを防ぐため、放電や待機に設定をした場合でも以下の動作を行います。

- 蓄電池残量が少なくなった場合は、直前に設定された自動運転モードの充電開始時刻から充電を行います。
- 「放電」または「待機」に設定してから 24 時間経過後に、直前に設定されていた自動運転モードまたは充電に切り替わります。

※電力会社との取り決めにより、蓄電システムは放電中であっても微量電力を買電します。

メモ

- 太陽光発電システムと異なり、送電線へ電力を逆流させない決まりとなっています。
- 負荷容量が 100W 未満の場合および負荷容量と太陽光発電容量が均等になる場合は、室内リモコンの表示が放電と待機で繰り返し切り替わることがあります。
- 発電電力が多く、売電電力が定格出力を超える場合には、蓄電池ユニットが充電できる状態であれば、定格出力を超える電力を、自動的に充電します。

放電中の動作について

電力会社との取り決めにより、蓄電システムは放電中に微量電力を買電します。

メモ

- 太陽光発電システムと異なり、送電線へ電力を逆流させない決まりとなっています。
- ご家庭の使用電力が 100W 未満の場合、およびご家庭の使用電力と太陽光発電電力が均等になる場合は、室内リモコンの表示が放電と待機で繰り返し切り替わることがあります。

※ 太陽光発電の電圧上昇抑制や遠隔出力制御について

システムの様々な状況による電圧上昇抑制や、電力会社による出力制御要請により、太陽光発電の余剰電力の一部を売電できない場合があります。売電できない余剰電力は、お客様が設定した充放電時間内であれば蓄電池へ充電を行います。満充電の場合は充電しません。

蓄電池ユニットの運転モードを選ぶ

通常時の運転モードをお客様のお好みに合わせて選択してください。

- 通常は自動運転モードを選択してください。
- 製品出荷時の設定は「経済モード」です。

設定できる運転モードは以下のとおりです。

設定できる運転モード	
自動運転モード	経済モード（太陽光の余剰電力を優先的に売電に利用）
	グリーンモード（太陽光の余剰電力を優先的に充電に利用）
手動運転モード	充電（時間帯に関係なく充電）
	放電（時間帯に関係なく放電）
	待機（時間帯に関係なく充放電しない）

各運転モードの詳細は 20 ページ、21 ページを参照してください。

< 自動運転モードの場合 >

1 「蓄電池アイコン」をタッチする



「蓄電池設定」画面に切り替わります。

2 運転モードの「自動」をタッチする



メモ

「ホーム」をタッチすると、ホーム画面に戻ります。
※通常は「自動」を選択してください。

3 「経済モード」、「グリーンモード」を選択し、「確定」をタッチする



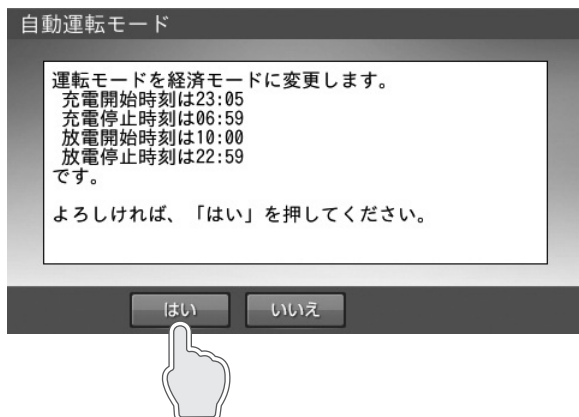
「経済モード」または「グリーンモード」を選択して充放電の開始・停止時刻を確認し、必要あれば変更します。

メモ

- 充放電開始・停止時刻を変更する場合は、「蓄電池ユニットの充放電時刻を設定する」（24 ページ）を参照してください。
- 設定を変更した場合は「キャンセル」をタッチすると、「設定が変更されています。変更を破棄して蓄電池設定画面に戻りますか？」の確認画面を表示します。「はい」または「いいえ」をタッチすると、蓄電池設定画面または自動運転モードの設定画面に戻ります。
- 蓄電池ユニットがない場合は、「蓄電池アイコン」は表示されませんので、本設定を行うことはできません。

次ページへ続く

4 「はい」をタッチする

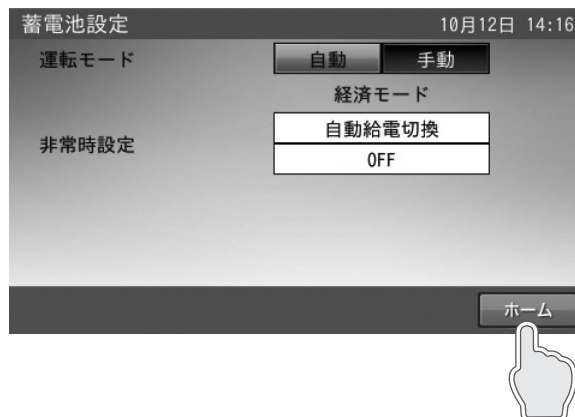


変更した自動運転モードを保存します。

メモ

「いいえ」をタッチすると、「自動運転モード」の設定画面に戻ります。

5 「ホーム」をタッチする



ホーム画面に戻ります。

< 手動運転モードの場合 >

1 「手動」をタッチする



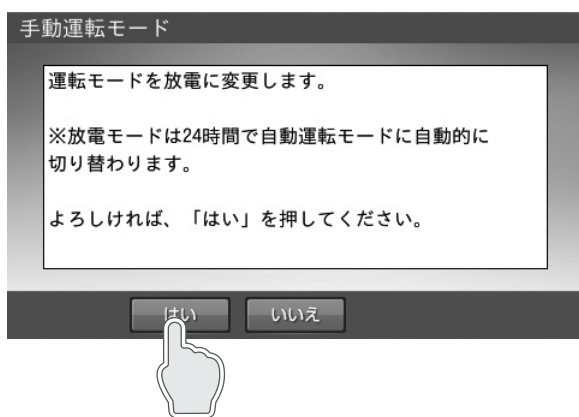
2 設定したいモードをタッチする



メモ

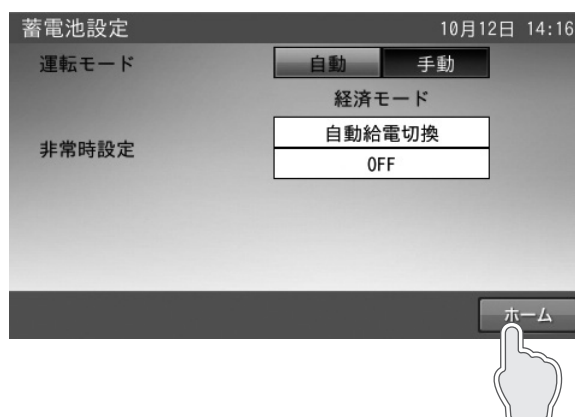
- 「放電」または「待機」を選択した場合は、24時間後、最後に設定された自動運転モードに自動的に変更されます。
- 設定を変更した場合は「キャンセル」をタッチすると、「設定が変更されています。変更を破棄して蓄電池設定画面に戻りますか？」の確認画面を表示します。「はい」または「いいえ」をタッチすると、蓄電池設定画面または手動運転モードの設定画面に戻ります。

3 「はい」をタッチする



手動運転モードが確定され、「蓄電池設定」画面に戻ります。

4 「ホーム」をタッチする



ホーム画面に戻ります。

蓄電池ユニットの充放電時刻を設定する

通常運転時の充電開始 / 停止時刻、放電開始 / 停止時刻を運転モードごとに設定できます。

- 製品出荷時の設定は次のとおりです。

「充電開始時刻 / 停止時刻」: 23:05 ~ 6:59

「放電開始時刻 / 停止時刻」: 10:00 ~ 22:59

充電開始時刻 / 停止時刻 電力会社の電力で蓄電池ユニットに充電するときの開始 / 停止時刻を設定できます。
放電開始時刻 / 停止時刻 蓄電池ユニットから放電するときの開始 / 停止時刻を設定できます。*

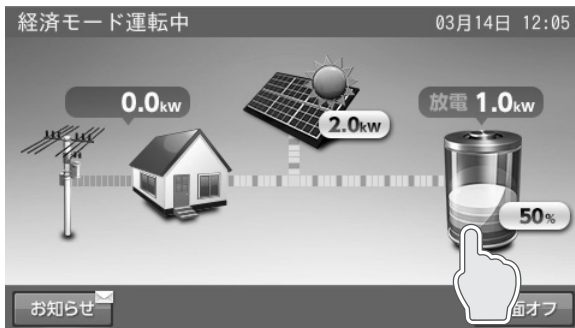
※ : 運転モードが「グリーンモード」設定かつ太陽光発電がある場合、太陽光発電電力の余剰分は放電時間帯に蓄電池ユニットに充電されます。

- 充放電時間帯が重複しないように設定してください。

メモ

- V2Hスタンドをご利用いただいている場合は、優先度の設定によっては、設定した時刻に放電または充電が始まらない場合があります。詳しくはV2Hスタンド取扱説明書を参照してください。また、太陽光発電電力を売電している場合は、放電時間帯であっても蓄電池ユニットから放電できません。
- 充電時間帯を短く設定すると、蓄電池残量が100%まで充電できない場合があります。
- グリーンモード利用時に、夜間充電が多く、太陽光の余剰電力で充電できない場合は、夜間の充電で満充電にならないよう、充電時間を短く設定してください。

1 「蓄電池アイコン」をタッチする



「蓄電池設定」画面に切り替わります。

2 「自動」をタッチする



3 設定したい運転モードをタッチする



選択した運転モードの充放電時間を設定します。

設定したモードの充電開始時刻、停止時刻、放電開始時刻、停止時刻を確認し、変更したい項目の時刻をタッチします。

メモ

「経済モード」「グリーンモード」は、それぞれ別の時刻を設定できます。同じ時刻でも問題ありません。

次ページへ続く

4 「数字キー」をタッチする



時刻を設定します。

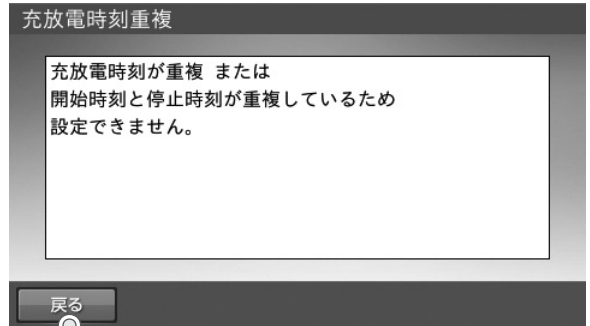
数字キーをタッチすると、新しい時刻を入力できます。

←/→をタッチすると、カーソルが移動します。

カーソルがある位置で「消去」をタッチすると、入力文字を消すことができます。

メモ

- 「キャンセル」をタッチすると、自動運転モードの設定画面に戻ります。
- 充放電時間は重複して設定できません。



※重複した状態で「確定」をタッチすると、上図を表示します。「戻る」をタッチして再設定してください。

5 「決定」をタッチする

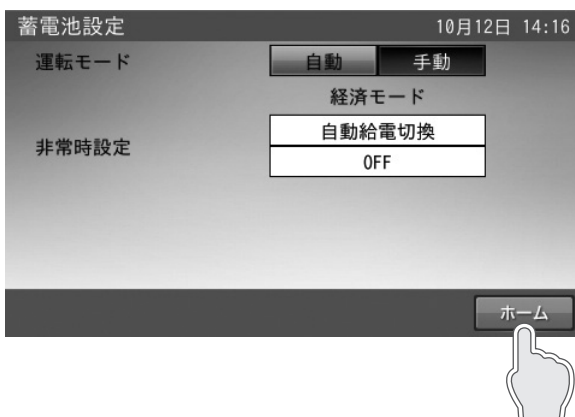


6 「確定」をタッチする



設定を確定します。

7 「ホーム」をタッチする



ホーム画面に戻ります。

蓄電池ユニットの非常時（停電時）の各設定について

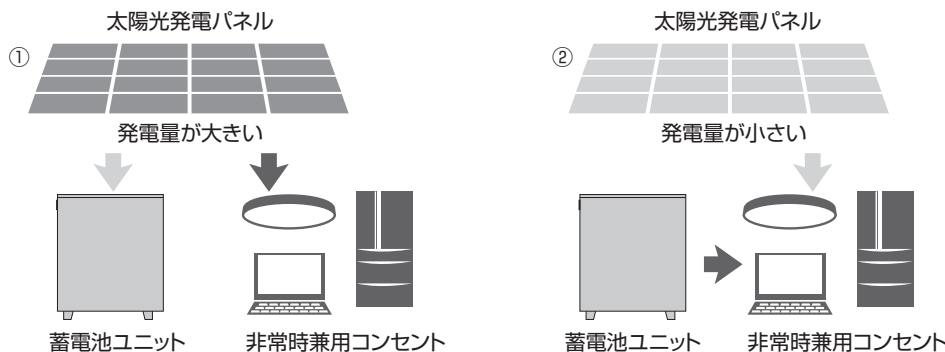
非常時運転モード

出荷時：「自動給電切換設定」

自動給電切換設定

太陽光発電電力と非常時兼用コンセントでの電力使用量を判断しながら、蓄電池ユニットからの放電や蓄電池ユニットへの充電の切り替えを自動で行います。通常は、こちらをご利用ください。

※外付け太陽光発電の余剰電力を利用することはできません。



①太陽光発電電力を非常時兼用コンセントに給電し、余剰電力を蓄電池ユニットに充電します。

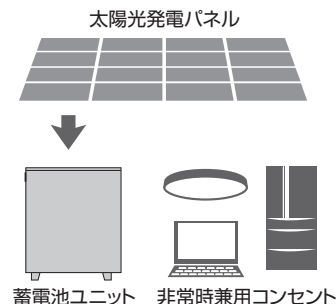
②太陽光発電電力が不足している場合や、発電していない場合は、蓄電池ユニットから非常時兼用コンセントに放電します。

強制充電設定

太陽光発電電力から蓄電池ユニットへの充電のみ行います。

非常時兼用コンセントへの給電は一切行いません。

充電完了後は、「待機」状態となりますので、「自動給電切換設定」に切り替えてください。



非常時安心設定

出荷時：OFF

停電が発生しても、蓄電池から電気が使えるよう普段から設定した割合の充電残量を常に残しておく設定です。残量が設定値になると放電を停止します。もしもの停電や、台風、計画停電などの停電にあらかじめ備えるときは、「非常時安心設定」を切り替えることで、安心してお使いいただけます。前日までに切り替えてください。

- 設定値：OFF (0%)、30%、40%、50%、60%、70%

メモ

- 通常時に蓄電池残量が設定値 +5% 未満の場合は、誤作動防止のため放電を開始しません。
- 停電中や充電時間が極端に短くなるような、充電できない状態が続く場合、あるいは蓄電池ユニットの環境温度が低い場合には、非常時安心設定の指定蓄電池残量を下回ることがあります。
- 設定値 OFF により、停電時蓄電池残量がない場合は、太陽光が発電するまで停電中は電気を使用することができません。
- 出荷時は経済性を重視して OFF (0%) に設定しています。
- 蓄電池・V2Hどちらも設置し、コネクタロックを行っている場合、蓄電池の非常時安心設定の設定値以下まで到達すると、余剰電力が発生しても蓄電池への充電は行われず、車両充電または売電を行います。

【ご注意ください】

非常時安心設定を OFF (0%) にすると、深夜に充電した料金の安い電力をすべて使うことができますが、停電時に充電残量がない場合、翌日の太陽光が発電するまで停電中は電気を使用できません。

設定例

停電に備えて、非常時安心設定を電池残量の 70% に設定すると、一晩の停電でも、必要最低限の不安を解消できます。

<停電時にご利用できる家電製品の目安> (同時使用可能)

LED 照明 (10W) : 3 時間 【30Wh】

冷蔵庫 (70W) : 15 時間 【1050Wh】

テレビ (150W) : 0.5 時間 【75Wh】

ルーター・TV ブースター等 (10W) : 15 時間 【150Wh】

携帯電話 (2 台 10W) : 1 時間 【10Wh】

※蓄電池の劣化 (容量保証 10 年・50%) を見込んでいます。

※実際の使用環境・機器等によって、電力の使用可能時間が異なります。

※停電時は、事前に計画されたスイッチ、コンセントのみ電気が使えます。

メモ

- 停電が終わりましたら、必ず、普段の設定に戻してください。
- 停電中に蓄電池残量がなくなっても、翌日に太陽光が発電すれば充電できます。

蓄電池ユニットの非常時（停電時）の各設定を選ぶ

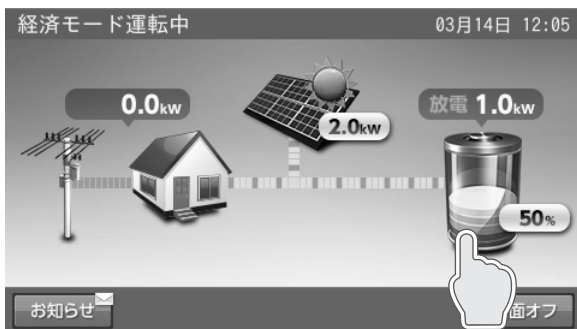
停電になったときのために、自動給電切換および、非常時安心設定お客様のお好みに合わせて選択します。

- 製品出荷時の設定は次のとおりです。

非常時運転モード： [自動給電切換]

非常時安心設定： [OFF]

1 「蓄電池アイコン」をタッチする



「蓄電池設定」画面に切り替わります。

2 「自動給電切換」をタッチする



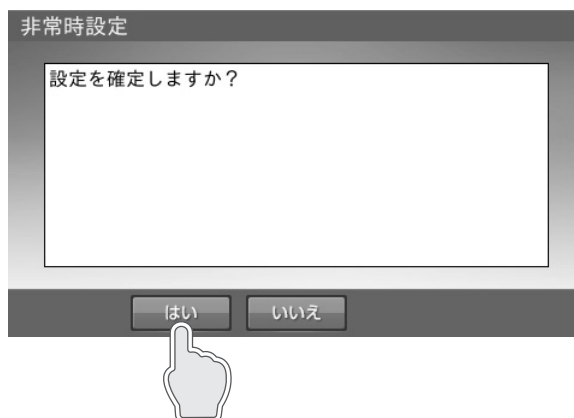
「非常時設定」画面に切り替わります。

3 非常時運転モード、非常時安心設定を変更後「確定」をタッチする



◀ / ▶をタッチして設定を変更します。

4 「はい」をタッチする

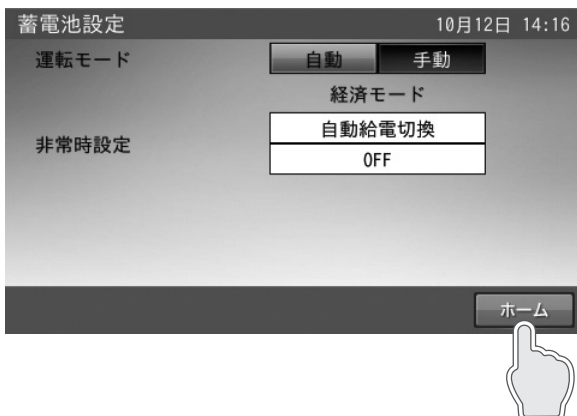


設定を変更して、「蓄電池設定」画面に戻ります。

メモ

「いいえ」をタッチすると、前の画面に戻ります。

5 「ホーム」をタッチする



ホーム画面に戻ります。

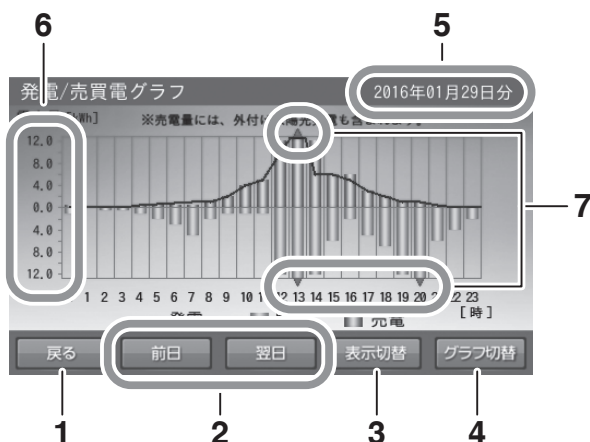
メモ

「キャンセル」をタッチすると、変更は確定されません。

各グラフについて

1. 発電 / 売買電グラフ (日別、月別、年別)

太陽光の発電電力量 (kWh) および売電・買電電力量 (kWh) を表示します。太陽光発電パネルがない場合も表示します。



2. 蓄電池充放電グラフ (日別、月別、年別)

蓄電池の充放電電力量 (kWh) および蓄電池残量 (%) (日別) を表示します。蓄電池ユニットがない場合は表示しません。



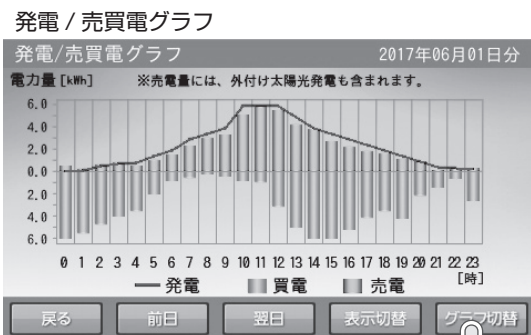
●グラフ共通

- 1. 戻るボタン**
「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。
- 2. 前日 / 翌日ボタン**
表示されているグラフの前日 / 翌日のグラフを表示します。
- 3. 表示切替ボタン**
「日別」⇒「月別」⇒「年別」⇒「日別」の順に切り替わります。
- 4. グラフ切替ボタン**
「発電 / 売買電グラフ」⇒「蓄電池充放電グラフ」※交互に切り替わります。
※「車両充放電グラフ」は、V2H スタンド取扱説明書参照
- 5. 日付表示**
表示しているグラフの日付を表示します。日付を変更したい場合は、ここをタッチしてください。「日付入力画面」に切り替わります。

📌 メモ

- 本システムの設置時から現在までの過去最大 10 年間相当のグラフを表示し、10 年を超えると古い日付のデータから削除されます。
- 「発電 / 売買電グラフ」において、外付け太陽光発電が「あり」の場合 (36 ページ) のみ画面上部に「売電量には、外付け太陽光発電も含まれます。」と表示します。
- グラフおよび表示量は目安です。測定条件などの違いにより、他の機器 (HEMS など) と異なる場合があります。
- 室内リモコンの電源を切っている間のデータは、データが保存されないため表示できません。
- 日時設定を変更したときは、変更時間帯を含むデータが正しいデータではなくなります。HEMS や NTP との時刻同期により日時設定が変更されたときも同様です。

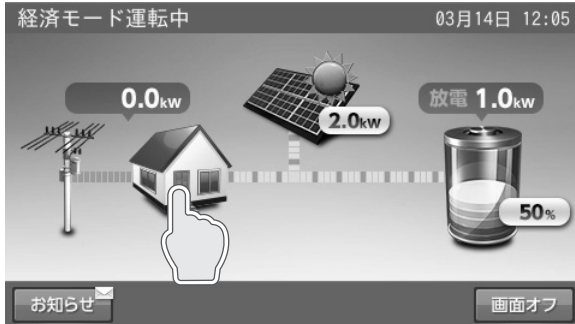
各グラフ画面の「グラフ切替」をタッチすると、グラフが切り替わります。



グラフの表示方法

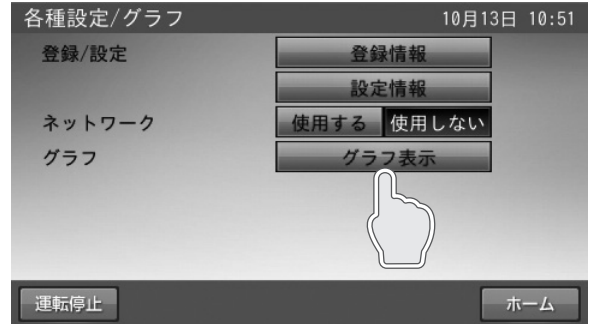
グラフを表示する

1 「家アイコン」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

2 「グラフ表示」をタッチする



「発電 / 売買電グラフ」画面に切り替わります。

メモ

- 発電 / 売買電グラフの日別を表示します。
- 室内リモコン上の現在時刻までのデータを表示します。
- 太陽光発電電力値表示（38 ページ）により、太陽光発電電力は外付け太陽光発電電力と本システムの発電電力との合算値と本システムの発電電力のみを選択することができます。

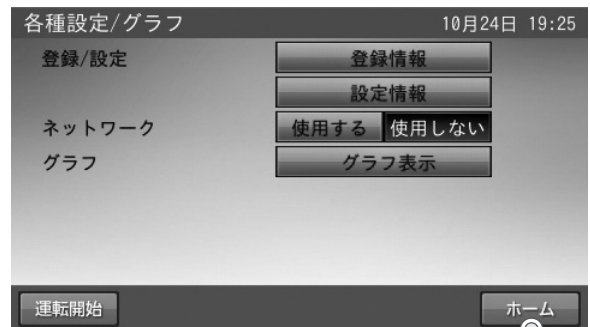
<ホーム画面に戻る場合>

3 「戻る」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。

4 「ホーム」をタッチする



ホーム画面に戻ります。

グラフ期間を変更する

各グラフの期間を変更します。各グラフ画面の「表示切替」ボタンをタッチすると、グラフの表示期間が切り替わります。「日別」⇒「月別」⇒「年別」の順に切り替わります。

■例：発電 / 売買電グラフの場合

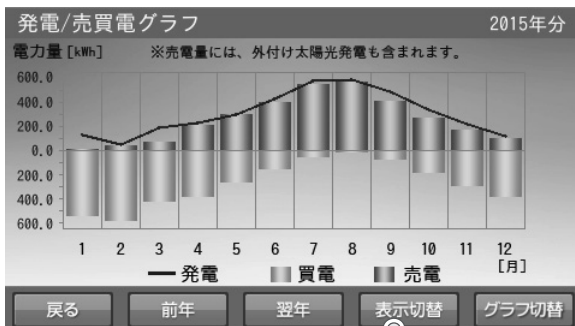
<日別>



<月別>



<年別>



メモ

- 最後のグラフまで切り替わると、最初のグラフに戻ります。
- 月別については、電力量が縦目盛りの最大値 30 kWh を超えると、次月以降は毎月 60 kWh あるいは 90 kWh 目盛りの表示になります。以降は切り替わった目盛り表示となります。

グラフの年、月、日を設定して変更する（日間表示の場合）

1 「日付」をタッチする



「日付選択」画面に切り替わります。

2 「日付」を入力する

表示させたいグラフの日付を設定します。
← / →をタッチすると、カーソルが移動します。
日付は、設置日から現在日の範囲で選択できます。
カーソルがある位置で「消去」をタッチすると、入力数字を消すことができます。

3 「決定」をタッチする

入力したグラフを表示します。

メモ

年別、月別グラフは、それぞれ年、月を変更してください。

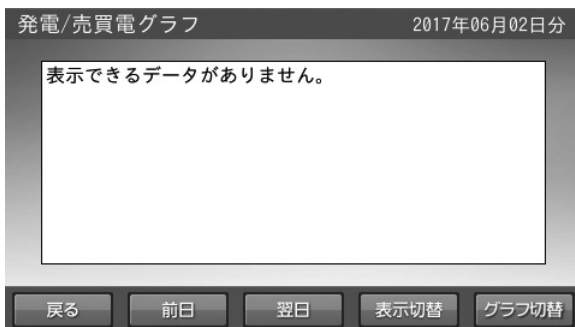
- 月別：月の変更が可能です。
- 年別：年の変更が可能です。

※ 下記の場合は、一部またはすべてのデータが削除または上書きされます。

- 日時設定を変更したとき
- 室内リモコンを修理交換したとき

表示するデータがない場合は、下図を表示します。

■例：表示できるデータがない場合（選択した日付）



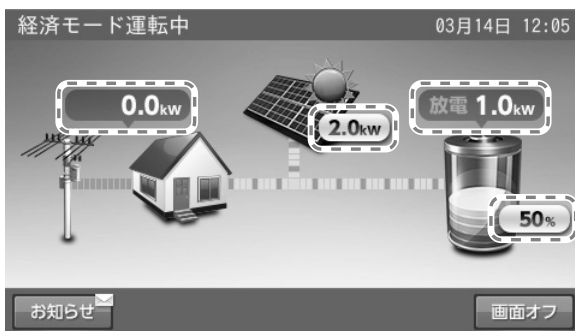
各種設定項目について

設定項目

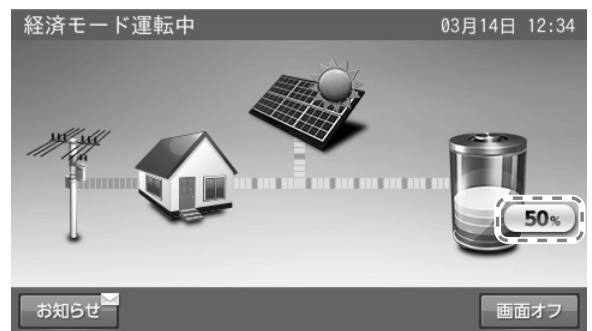


- 画面オフ時間（出荷時設定：5分）
タッチパネルを操作していない状態から、画面がオフするまでの時間（1～10分）を設定できます。
※画面がオフした場合は、タッチパネルに触れると画面が表示します。
- 操作音（出荷時設定：ON）
画面操作音のON/OFFを設定できます。
- 画面明るさ（出荷時設定：5）
画面の明るさを10段階で設定できます。
お部屋の明るさなどの影響により、画面が見えにくい場合は変更してください。
- 数値表示（出荷時設定：電力&残量）（下図参照）
ホーム画面上の電力値、および蓄電池残量の表示を設定できます。
「電力&残量」、「電力のみ」、「残量のみ」、「非表示」の中から選択できます。
- 契約容量設定（出荷時設定：制限なし）
ご家庭の契約アンペアまたは契約電力のブレーカ容量に対し、本システムの充電電力を調整するための設定です。施工業者が設定します。お客様は変更しないでください。
※電力契約の変更により、設定値を変更する場合は、販売会社に相談してください。
- 最大充電電力設定（出荷時設定：5.9kW）
蓄電池充電時の最大充電電力を設定できます。最大5.9kWまで設定できます。
1.0～5.9kWの範囲で、0.1kW刻みで設定できます。
- 停電時出力（出荷時設定：自動）
停電時の電力供給を自動/手動設定できます。
 - ・「自動」設定した場合：停電時、自動で非常時兼用コンセントに電気を供給します。
 - ・「手動」設定した場合：停電時、室内リモコンの画面上で「はい」をタッチすることで、電気を供給します。自動では電気を供給しません。安全を確認してから非常時兼用コンセントを利用したい場合に利用してください。

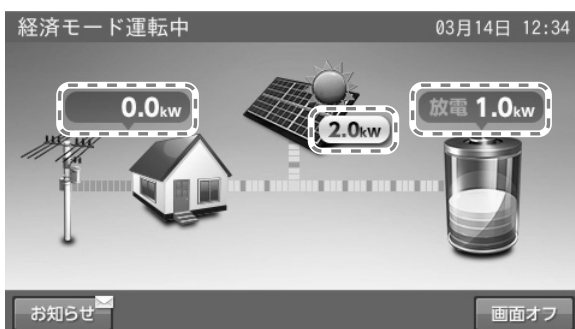
<電力&残量>



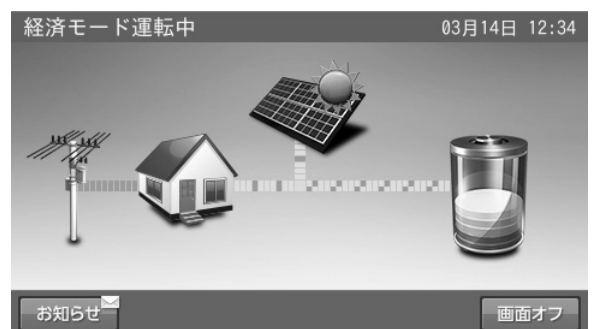
<残量のみ>



<電力量のみ>

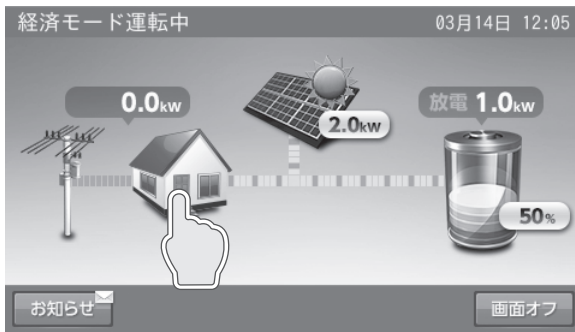


<非表示>



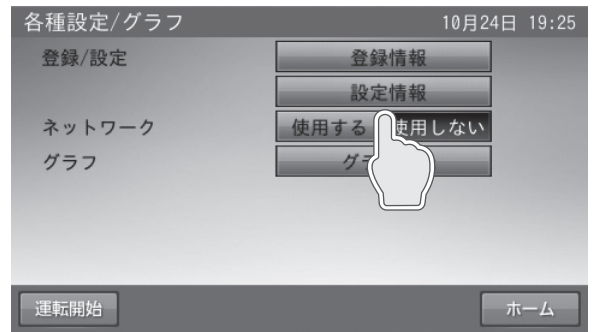
各種設定項目を選ぶ

1 「家アイコン」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

2 「設定情報」をタッチする



「設定情報」画面に切り替わります。

3 各設定項目を変更する



変更したい項目で◀ / ▶、「ON」、「OFF」または「自動」、「手動」をタッチして変更してください。

メモ

- 「次へ」をタッチすると、ページを送ります。
- 「前へ」をタッチすると、前のページに戻ります。

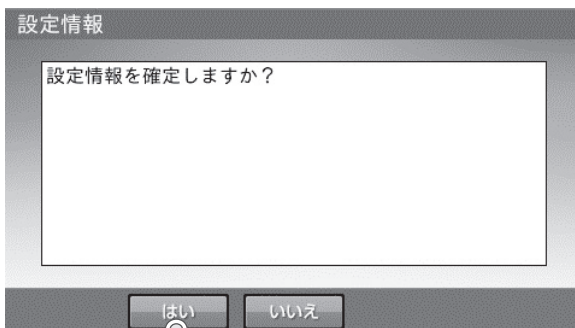
4 「確定」をタッチする



メモ

「キャンセル」をタッチすると、変更は確定されず、「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。

5 「はい」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。

メモ

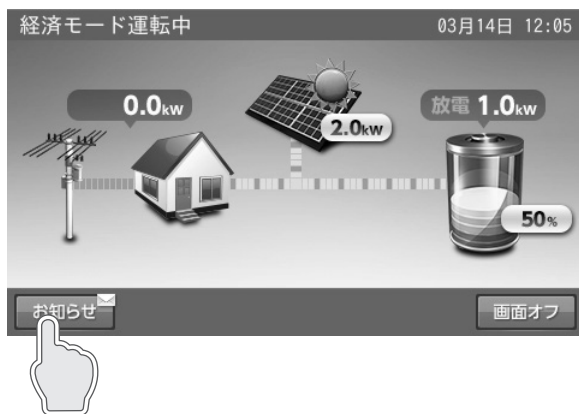
「いいえ」をタッチすると、変更は確定せずに「設定情報」の画面に戻ります。

点検コード・発電抑制の履歴を確認する

- 点検コード履歴：点検コードの履歴を表示します。
- 抑制履歴：本システムのパワーコンディショナの太陽光発電が、以下により抑制された履歴を表示します。
(外付け太陽光発電除く)
 - 電圧上昇抑制履歴：柱上トランスの電圧が太陽光の売電等により上昇した場合、電力会社指示による発電抑制
 - 出力制御履歴（出力制御対象時のみ）：出力制御対象邸の場合に、電力会社で定められたスケジュールによる発電抑制
 - HEMS 発電制御履歴：HEMS からの指示による発電制御

<点検コード履歴>

1 「お知らせ」をタッチする



「お知らせリスト」画面に切り替わります。

2 「表示したい項目」をタッチする

■例：お知らせセリスト画面

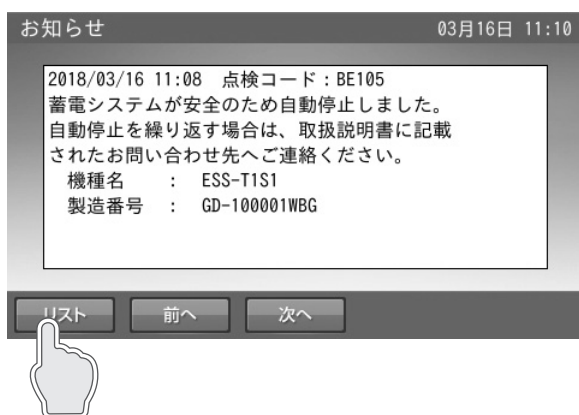


①リストが8件以上の場合は、画面右側にスクロールバーを表示します。■をタッチしながら上下に移動させると、表示をすばやく上下に移動することができます。

②▲/▼をタッチすると、リスト表示を上下に移動させることができます。

<お知らせリストに戻る場合>

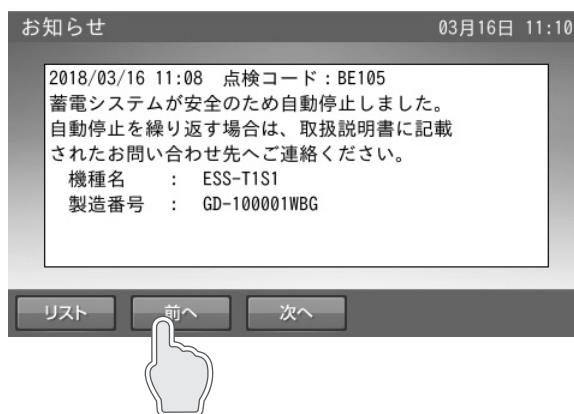
3 「リスト」をタッチする



「お知らせリスト」の画面に戻ります。

<前もしくは次のお知らせを確認する場合>

4 「前へ」または「次へ」をタッチする



- 「前へ」：表示しているお知らせより古いお知らせに切り替わります。
- 「次へ」：表示しているお知らせより新しいお知らせに切り替わります。

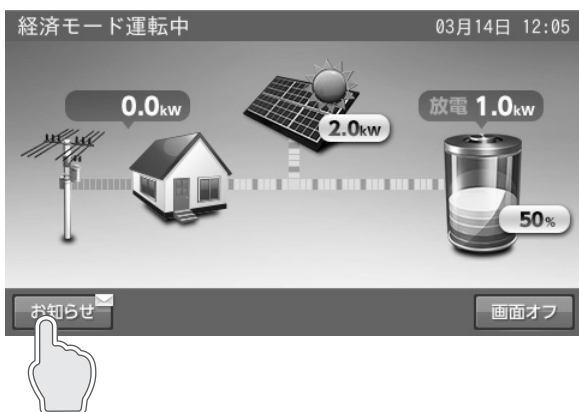
メモ

- お知らせリスト画面の「ホーム」をタッチすると、ホーム画面に戻ります。
- リストには最大100件のお知らせを表示できます。
- 未読のお知らせは黒で、既読のお知らせはグレーの色で表示します。
- 室内リモコンの現在日時が未設定の場合は、「--- / -- / --- : --」と表示します。

次ページへ続く

<太陽光発電抑制履歴>

1 「お知らせ」をタッチする



「お知らせリスト」画面に切り替わります。

2 お知らせリストの「抑制履歴」をタッチする

■例：お知らせリスト画面



通常時の使い方

3 「表示切替」をタッチする

■例：電圧上昇抑制履歴



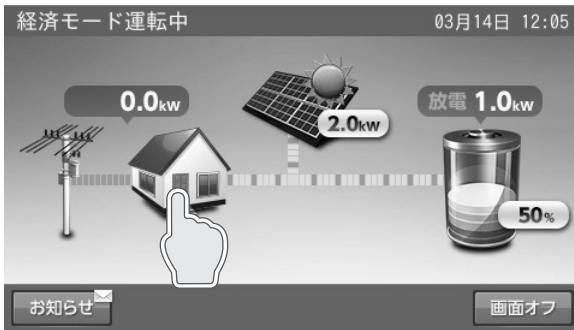
「表示切替」をタッチするたびに、表示が切り替わります。



登録情報を確認・変更する

本システムに登録されている機器情報を確認します。郵便番号のみ、お客様にて変更できます。

1 「家アイコン」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

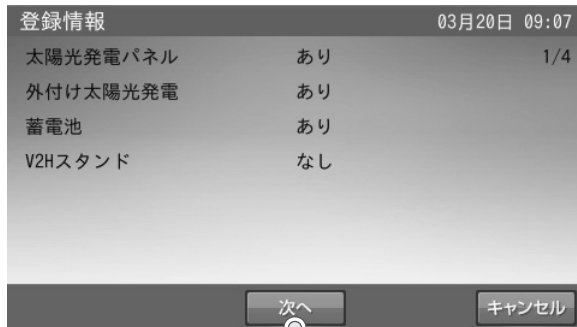
2 「登録情報」をタッチする



「登録情報」画面に切り替わります。

3 「前へ」または「次へ」をタッチする

< 1/4 ページ目 >



- 太陽光発電パネル：あり / なし
- 外付け太陽光発電：あり / なし
- 蓄電池：あり / なし
- V2Hスタンド：あり / なし

< 3/4 ページ目 >



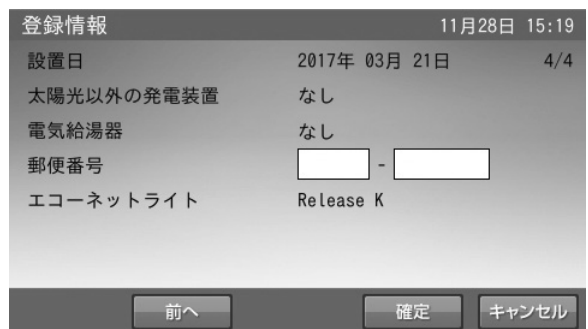
- 蓄電池ユニット容量：4.0kWh / なし
- V2Hスタンド：製造番号 / なし
(蓄電池が「あり」の場合に製造番号を表示します。)
- 蓄電池設置場所：屋内 / 屋外 / なし
- V2Hスタンド設置場所：車庫 / その他 / なし

< 2/4 ページ目 >



- システム機種名：
- パワーコンディショナ製造番号：
- 室内リモコン機種名および製造番号：

< 4/4 ページ目 >



- 設置日：設置した日を確認できます。
- 太陽光以外の発電装置：あり / なし
- 電気給湯器：あり / なし
- 郵便番号：お客様宅の郵便番号 (変更可)
- エコネットライト：バージョン番号

登録情報を確認後「キャンセル」をタッチして、「各種設定 / グラフ」の画面に戻ります。

次ページへ続く

■郵便番号の変更方法

※郵便番号を入力しておく、異常が発生した際に、原因の特定につながる場合がありますので、正しく入力してください。

1 「郵便番号」をタッチする



「郵便番号」の入力画面に切り替わります。

メモ

郵便番号の入力または変更をしない場合は、「キャンセル」をタッチしてください。「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。
通常は、施工時に入力するため、操作は不要です。

2 「郵便番号」を入力する

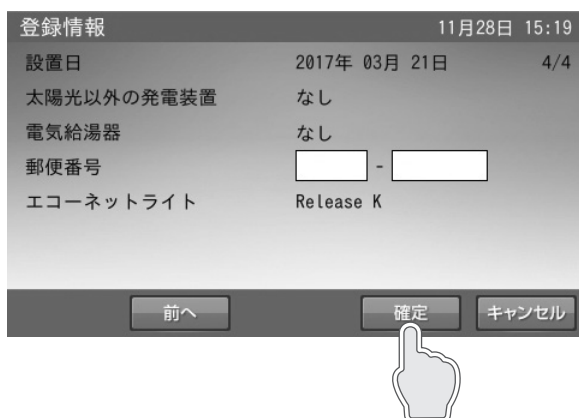


入力または変更する項目をタッチします。
数字キーをタッチして、入力します。
入力が終わったら、「決定」をタッチします。

メモ

この段階では郵便番号の変更は確定していません。

3 「確定」をタッチする

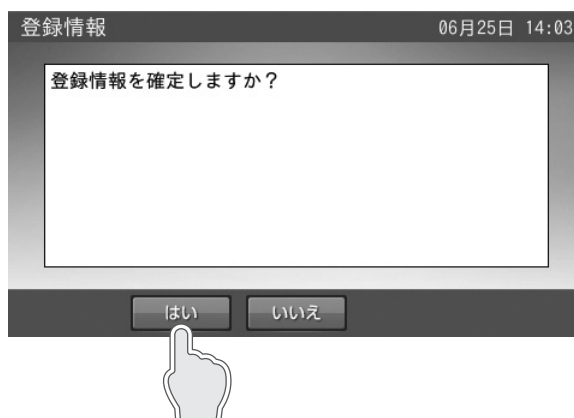


変更した郵便番号で問題なければ、「確定」をタッチします。

メモ

「キャンセル」をタッチすると、変更は確定されず「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。

4 「はい」をタッチする



「各種設定 / グラフ」の画面に戻ります。

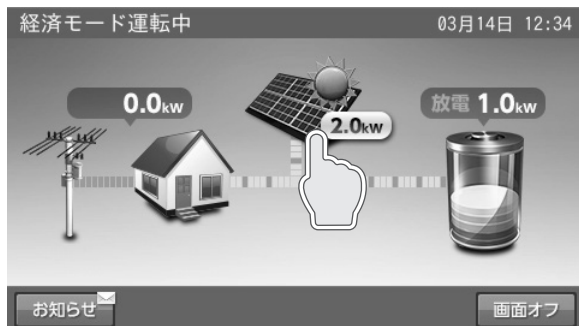
メモ

「いいえ」をタッチすると、変更を確定せずに「登録情報」の画面に戻ります。

太陽光発電設定を確認する

太陽光発電設定の項目を確認することができます。

1 「太陽光パネルアイコン」をタッチする



「太陽光発電設定」画面に切り替わります。

2 太陽光発電設定内容を「確認」する



ホーム画面に戻ります。

- 外付け太陽光発電の定格：本システムと併設している外付け太陽光発電の定格電力です。

※外付け太陽光発電の定格は、外付け太陽光発電設置時のみ表示します。

- 太陽光発電電力値表示：外付け太陽光発電の電力値を合計して表示するかを選択できます。

- 発電所ID：接続している発電所のIDです（電力会社からの明細に記載されています）。

※発電所IDは出力制御対象時のみ表示します。

- 設備認定容量：FIT申請により、売電が認められる太陽光発電量を表示します。

メモ

- 外付け太陽光発電を設置しているにも関わらず、表示しない場合は、販売店にご連絡ください。
- 太陽光パネル、外付け太陽光発電が接続されていない場合は、「太陽光発電設定」に太陽光発電電力値表示の項目が表示されないため、本内容の確認はできません。
- 固定価格買い取り制度 (FIT) とは、再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定価格で10年間買い取る制度です。

停電時の使い方（自立運転）

停電時の使い方（自立運転）

停電時の室内リモコンの表示は、画面左上に「停電時運転中」と表示されます。

- 停電時の操作はありません。
- 非常時兼用コンセントに自動的に給電されます。

■例：停電時運転中のホーム画面



- 分電盤の切替スイッチが「蓄電」側になっていることをご確認ください。切替スイッチを「蓄電」側でご利用いただいた場合は、停電時、自動的に非常時兼用コンセントに電気が供給されます。

停電時の家電製品の利用について

非常時兼用コンセントの消費電力（目安）は 1500 W です。（100 V のみ使用可）

（蓄電池ユニット出力：最大 2.0 kVA、太陽光が 3 kW 以上発電している場合：最大 3.0 kVA）

電気の使い過ぎや使用中の家電製品の特性により、非常時兼用コンセントで機器の出力を超える電力を使用すると、室内リモコンにメッセージを表示して、非常時兼用コンセントへの給電を停止します。

下記の家電製品は、非常時兼用コンセントへの接続を避ける、または注意してください。

途中で電源が切れると困る家電製品	突入電流が大きい家電製品	消費電力が大きい家電製品	保温機能がある家電製品
接続禁止	動作しない場合がある	動作しない場合がある	動作しない場合がある
医療機器、デスクトップ型パソコンなど	掃除機、遠赤外線ヒーター、洗濯機、ポンプ、業務用機器など	電子レンジ、電気ストーブ、業務用機器など	炊飯器、温水洗浄便座など

- 分電盤の切替スイッチが切り替わる時、2 秒程度電気の供給が瞬断します。そのため、瞬断が発生すると不都合が生じる機器（医療機器等）は接続しないでください。
- 途中で電源が切れると困る家電製品は接続しないでください。
- 突入電流が大きい家電製品や業務用機器などは一部動作しない場合があります。
- 消費電力が大きい家電製品や業務用機器などを利用する場合は、動作させる前に、他に接続している家電製品を減らすなど、非常時兼用コンセントの定格を超えないように工夫してください。
- もし、安全装置が作動してしまった場合は、室内リモコンのメッセージに従って、接続している家電製品の数を減らして、システムを再起動してください。
- 200 V の家電製品（エアコンや IH クッキングヒーター）は使用できません。

<停電時にご利用できる家電製品の目安>（同時使用可能：非常時安心設定 70%の場合）

- LED 照明（10 W）：3 時間【30 Wh】
 - 冷蔵庫（70 W）：15 時間【1050 Wh】
 - テレビ（150 W）：0.5 時間【75 Wh】
 - ルーター・TV ブースター等（10 W）：15 時間【150 Wh】
 - 携帯電話（2 台 10 W）：1 時間【10 Wh】
- ※蓄電池の劣化（容量保証 10 年・50%）を見込んでいます。
 ※実際の使用環境・機器等によって、電力の使用可能時間が異なります。
 ※停電時は、事前に計画されたスイッチ、コンセントのみ電気が使えます。
 ※蓄電池ユニットがない場合は、太陽光が発電している時のみご利用できます。

復電時の操作

- 停電後、復電した場合は、本システムに対して、特別な操作はありません。
- 電力会社との協議で定められている時間内（最大 5 分）は、復電しても停電時の動作となります。復電後、電力会社との協議で定められた時間を経過すると、本システムは通常時のモードで動作します。

ネットワークの設定

ネットワークの設定をする

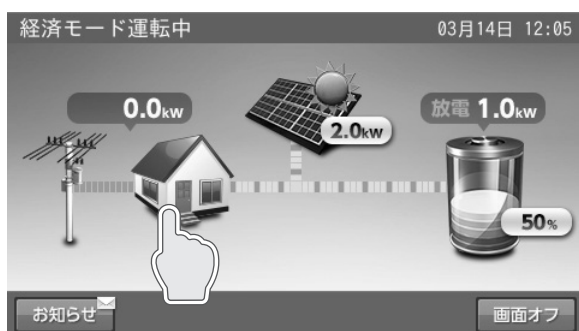
見守りサービスなどニチコンのネットワークサービスを利用する場合は、インターネットに接続するため、IP アドレスおよび DNS サーバーの設定をしてください。

ネットワークの環境がない状態でネットワークの設定を有効にした場合や、IP アドレスなど設定が間違っている場合、点検コード「BC551」を表示します。その場合は、ネットワークの設定を見直してください。

※出荷時、ネットワーク設定は、「使用しない」になっています。

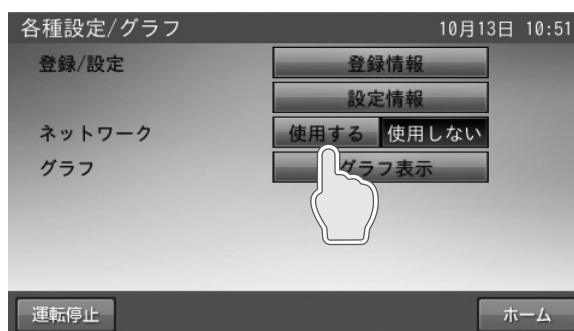
ネットワークを使用する場合（有線）

1 「家アイコン」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

2 「使用する」をタッチする



3 「有線 LAN」 → 「自動設定」または「手動設定」の順をタッチする



- 「自動設定」：手順 7 へ
- 「手動設定」：手順 4 へ



通常は自動設定です。

4 各項目を入力後「決定」をタッチする

各項目の入力箇所をタッチすると、キーボードが表示され入力できます。

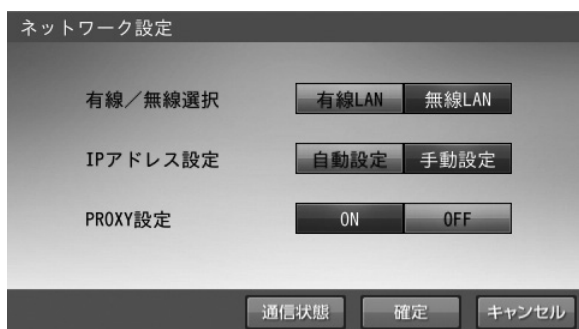
■例：IP アドレス手動設定の画面



5 PROXY 設定を選択する



通常設定していただく必要はありません。

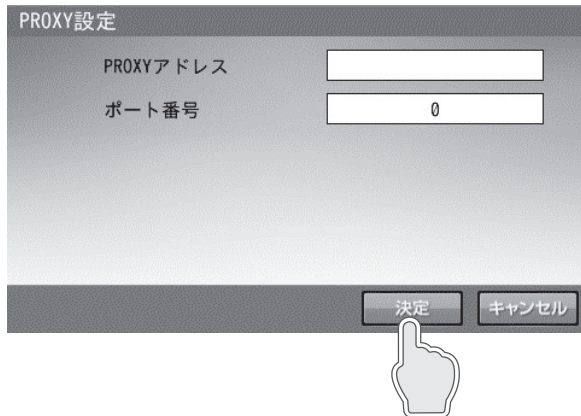


- 「ON」：手順 6 へ
- 「OFF」：手順 7 へ

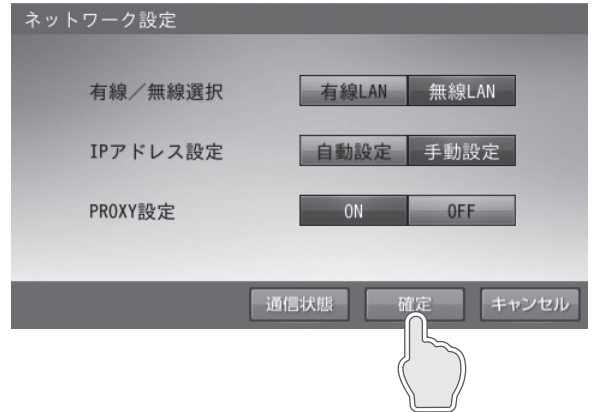
次ページへ続く

6 各項目を入力後「決定」をタッチする

各項目の入力箇所をタッチすると、キーボードが表示され入力できます。



7 「確定」をタッチする



確定してよいか確認メッセージが表示されますので、「はい」をタッチします。

ネットワークを使用する場合（無線）

メモ

- 無線 LAN アダプタ（無線 LAN 子機）が室内リモコンに接続されていないと、無線 LAN は選択できません。
- 無線 LAN アダプタを室内リモコン底面にある USB ポートに接続してください。
- 本製品に対応する無線 LAN アダプタについては、ニチコンホームページをご参照のうえ、別途ご購入ください。（市場の状況によっては、入手できない可能性があります。）

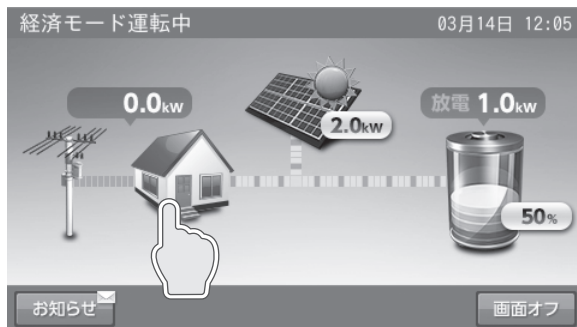
なお、本製品の室内リモコンは、ニチコンホームページ記載のメーカー型番以外の無線 LAN アダプタは認識できないため利用にはなりません。

また、蓄電システムの製造番号により対応する無線 LAN アダプタが異なる場合がありますのでご注意ください。

https://www.nichicon.co.jp/products/ess/user_support.html#anc01

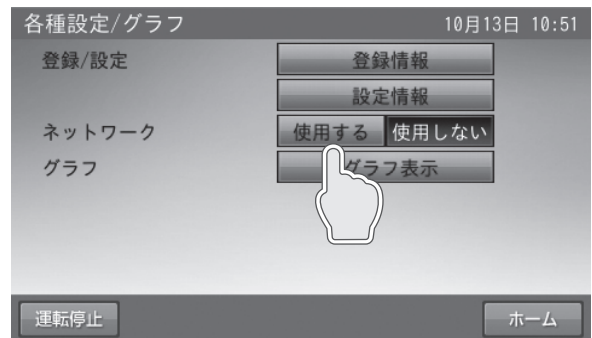
「個人のお客様」—「④その他の情報」—「●見守りサービスおよび AI 自動制御、気象警報自動制御」—「(1) 室内リモコンのネット接続用の無線 LAN アダプタ (子機) について」

1 「家アイコン」をタッチする

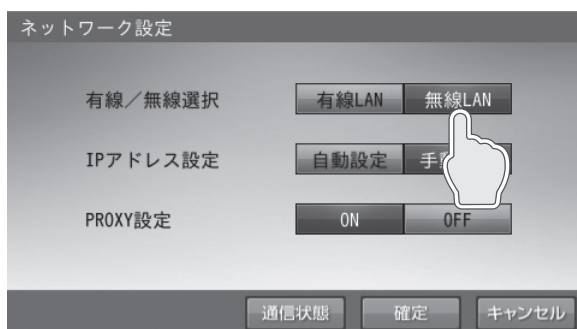


「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

2 「使用する」をタッチする



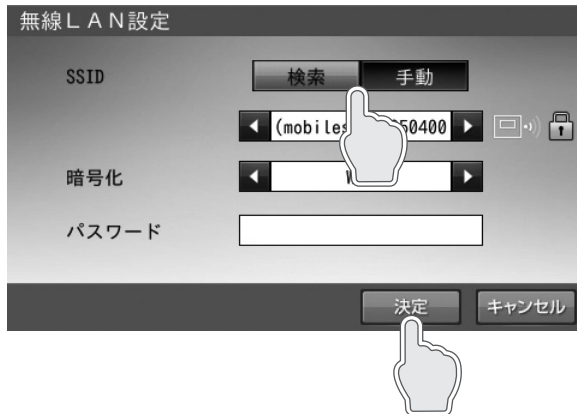
3 「無線 LAN」をタッチする



次ページへ続く

4 各項目を入力後「決定」をタッチする

各項目の入力箇所をタッチすると、キーボードが表示され入力できます。

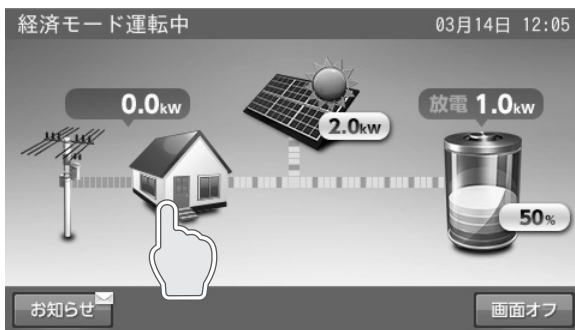


- 「検索」：使用する無線LANルーターのSSIDを選択し、ルーターで設定されている暗号化方式の選択、およびパスワード（セキュリティーキー）の入力を行います。
- 「手動」：使用する無線LANルーターのSSIDを入力し、ルーターで設定されている暗号化方式の選択、およびパスワード（セキュリティーキー）の入力を行います。

ネットワークを使用しない場合

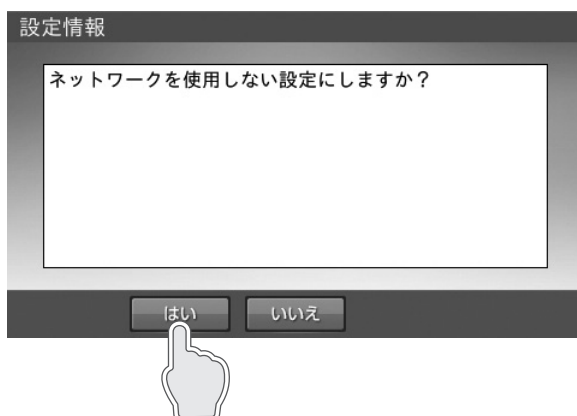
通常は必ずネットワークは使用してください。

1 「家アイコン」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

3 「はい」をタッチする

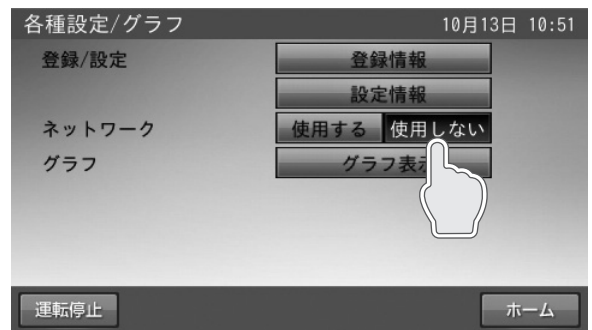


5 「確定」をタッチする



確定してよいか確認メッセージが表示されますので、「はい」をタッチします。

2 「使用しない」をタッチする



メモ

ネットワークを使用しない場合、以下の項目が利用できませんので、通常は必ずネットワークを設定してください。

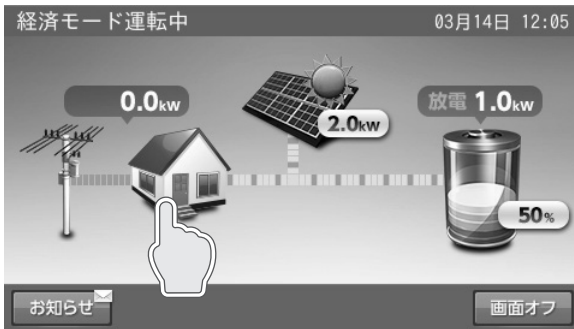
- ニチコンのネットワークサービス（見守りサービスなど）
- ソフトウェアの更新
- HEMS 表示
- HEMS 制御

※出力制御対象邸の場合、スケジュール更新が有償となります。

ネットワーク接続の通信状態を確認する

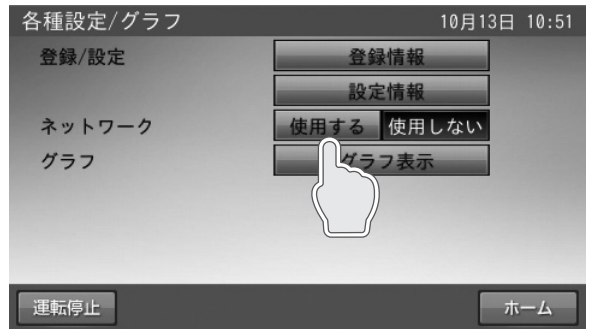
ネットワーク接続の通信状態を確認できます。

1 「家アイコン」をタッチする

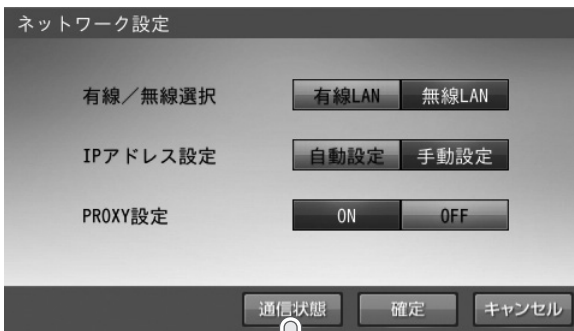


「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

2 「使用する」をタッチする



3 「通信状態」をタッチする

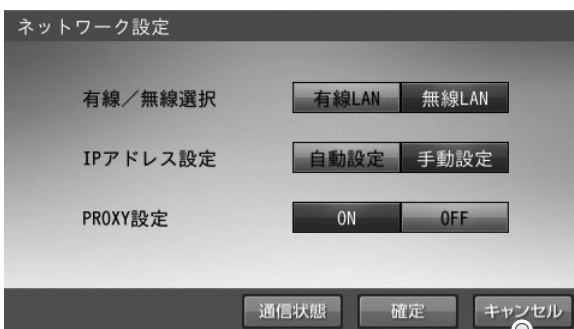


4 通信状態を確認する



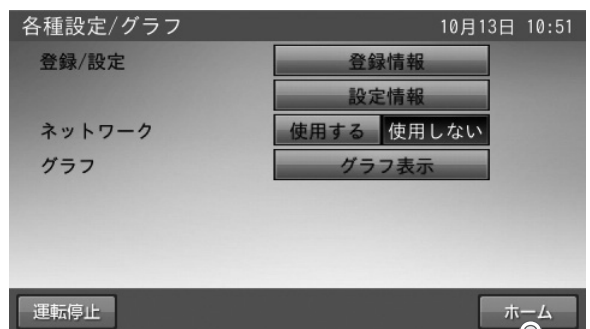
- ルーター接続：ルーターとの接続状態
 - 見守りサーバ接続：ニチコン見守りサーバとの接続状態
 - 電力会社サーバ接続：電力会社サーバとの接続状態（出力制御対象時のみ表示します。）
 - NTP サーバー接続：時刻情報サーバとの接続状態（出力制御対象時は表示しません。）
- 確認後は、「戻る」をタッチしてください。
表示内容を更新する場合は、「更新」ボタンをタッチしてください。

5 「キャンセル」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。

6 「ホーム」をタッチする



「ホーム」画面に戻ります。

ニチコンのネットワークサービス

ニチコンのネットワークサービスに加入されることで、より便利に蓄電システムをご活用いただけます。

詳しくはニチコンオーナーズ倶楽部をご参照ください。

ニチコンオーナーズ倶楽部：<https://owners.nichicon.co.jp>

※ 各種ネットワークサービスをご利用の際は、ニチコンオーナーズ倶楽部にリンクされている「ニチコンのネットワークサービスについて」をご確認のうえ、ニチコンオーナーズ倶楽部からお申込みください。

ニチコンのネットワークサービスについて：

https://www.nichicon.co.jp/products/ess/pdf/network_service_manual.pdf

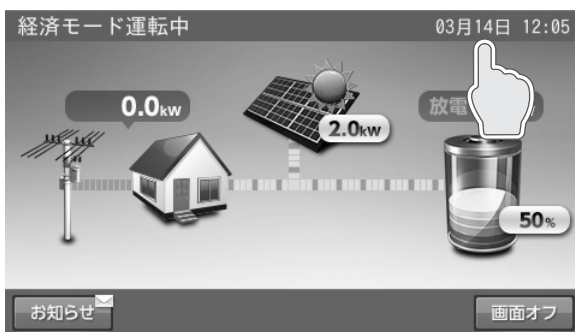
■ニチコンオーナーズ倶楽部



日時の設定

現在日時を設定します。

1 「日時」をタッチする



「現在日時」画面に切り替わります。

2 日時を変更後「確定」をタッチする

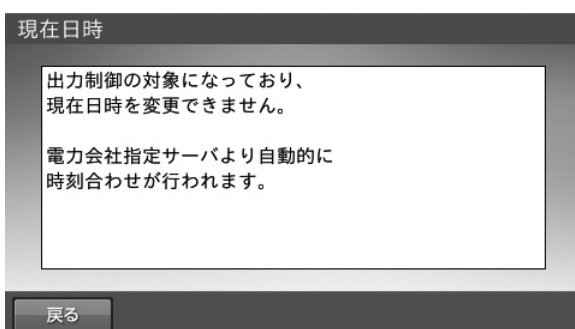


数字キーをタッチすると、新しい時刻が入力されます。
←/→をタッチすると、カーソルが移動します。
カーソルがある位置で「消去」をタッチして入力数字を消すことができます。
「キャンセル」をタッチすると、変更を確定せず、ホーム画面に戻ります。
「確定」をタッチすると、変更を確定してホーム画面に戻ります。

メモ

- 現在時刻は、長年の使用により進みや遅れが生じることがあります。定期的に修正することをお勧めします。現在時刻に進みや遅れが生じると、割高な電気料金で充電を行ってしまう場合があります。
- ネットワークに接続している場合は、毎日夜間に現在時刻が更新されますので、設定は不要です。
- 出力制御対象の場合は、現在日時を変更できません。

■出力制御対象の場合のメッセージ



こんなときは

ブザー音や異音について

ブザーが鳴ったとき

ブザーが鳴ったときは、室内リモコンの画面に表示されたメッセージおよび「点検コード（BExxx、BFxxx）が表示されたとき」（53 ページ）の処置に従ってください。

機器から発生する音について

以下の音は本製品の異常ではありません。

ジージー音	製品内部の回路が動作するときに発生する音です。
チリチリ音	
チャリチャリ音	
カチャ音	製品内部の機械部分が動作するときに発生する音です。 （運転開始時と、停止時に発生します）
ブーン音	ファンの音です。

メモ

聴覚感度が高い方にとって、運転時の高周波音は不快に感じる場合がありますが異常ではありません。

動作がおかしいと感じたとき

アンペアブレーカが頻繁に落ちる場合

お買い上げの販売会社へご連絡ください。

契約電力を変更する場合

アンペアブレーカの容量を変更する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

非常時兼用コンセントのブレーカが頻繁に落ちる場合

接続している家電製品を減らしてください。

非常時兼用コンセントが使用できない場合

- ブレーカが落ちていないか確認してください。ブレーカが落ちている場合は、ブレーカを上げてください。
- 室内リモコンに点検コードが表示されている場合は、メッセージおよび「点検コード（BExxx、BFxxx）が表示されたとき」（53 ページ）の処置に従ってください。
- 切替スイッチが「蓄電」側であることを確認してください。「系統」側の場合は「蓄電」側に変更してください。
- 「停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合」（46 ページ）を参照してください。太陽光発電がなく、蓄電池残量がゼロの場合は、非常時兼用コンセントを利用することはできません。
- 上記要因でない場合、故障の可能性があります。お買い上げの販売会社へご連絡ください。

室内リモコンの画面が表示されない場合

室内リモコンが故障している可能性があります。お買い上げの販売会社へご連絡ください。

停電時、太陽光発電がなく、蓄電池残量がゼロの場合は、室内リモコンの画面は表示されません。

蓄電池残量を確認してください。ゼロの場合、「停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合」（46 ページ）の処置を行っても室内リモコンの画面が表示されない場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

100%まで充電できない場合

- 充電時間帯に他の家電製品（電気温水器、床暖房など）を多く使っている場合、電力契約によっては、充電できる電力が不足し、100%まで充電できない場合があります。その場合は、電力契約の見直しなどについて、お買い上げの販売会社にご相談ください。
- 充電時間が短い場合、100%まで充電できない場合があります。「蓄電池ユニットの充放電時刻を設定する」（24 ページ）を参照してください。
- 最大充電電力設定を低く設定している場合があります。「各種設定項目について」（32 ページ）の「最大充電電力設定」を確認してください。

停電時に充放電できない場合

- 太陽光発電がない場合は、蓄電池ユニットの「非常時運転モード」を「強制充電設定」に設定しても、蓄電池ユニットに充電することはできません。
- 蓄電池ユニットの「非常時運転モード」が「強制充電設定」になっている場合、蓄電池ユニットから放電することはできません。「自動給電切換」に設定してください。（27 ページ）

停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合

夜間など太陽光発電電力がない状態で停電になり、停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合は、蓄電システムが停止します。その場合は、室内リモコンの画面をタッチしても何も表示されません。

● 太陽光発電電力が得られた場合

- ① 室内リモコンに点検コード「BF404」を表示する場合があります。
その場合は、「非表示」をタッチして、点検コード画面を閉じてください。太陽光発電電力による蓄電池の充電が進むと、点検コード「BF404」は自動的に解消します。
- ② 充電を優先する場合は、「蓄電池ユニットの非常時（停電時）の各設定を選ぶ」（27 ページ）の「非常時運転モード」を「強制充電設定」にしてください。

メモ

- 「強制充電設定」は、非常時兼用コンセントには一切電気が供給されませんが、蓄電池残量がゼロのため、十分な電力が充電できるよう可能な限り本モードを選択してください。非常時兼用コンセントへの給電を優先したい場合は、「自動給電切換」を選択してください。
- 室内リモコンにその他の点検コードが表示された場合は、「点検コード（BExxx、BFxxx）が表示されたとき」（53 ページ）の処置に従ってください。

● 太陽光発電電力が得られない場合

復電するまで、本システムを利用することはできません。

復電後、下記点検コードを発報した場合には、お客様にて「非表示」をタッチして点検コード画面を閉じ、以下の操作を行ってください。

- 点検コード「BF404」が表示された場合：操作不要です。
充電時間帯に自動で充電を行います。
- 点検コード「BF517」が表示された場合：「日時の設定」（44 ページ）に従い、現在日時を設定してください。

その他ご使用に関する操作方法等

停電時、安全を確認してから非常時兼用コンセントをご利用になりたい場合

下記に従って、操作を行ってください。

切替スイッチが「系統」側のままの場合は、停電時、非常時兼用コンセントには電気が供給されませんので、「蓄電」側に切り替えてください。(48 ページ)

1 「手動」をタッチする



「設定情報」で「停電時出力」の設定を「手動」にします。「確定」をタッチします。

2 「自動給電切換」を選択する

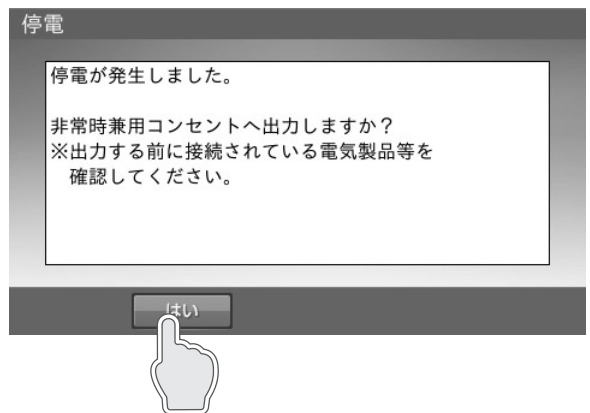


「非常時設定」で「非常時運転モード」を「自動給電切換」にします。「確定」をタッチします。

3 安全を確認する

停電が発生したら、配線、非常時兼用コンセントに接続されている家電製品などが安全であることを確認します。

4 「はい」をタッチする



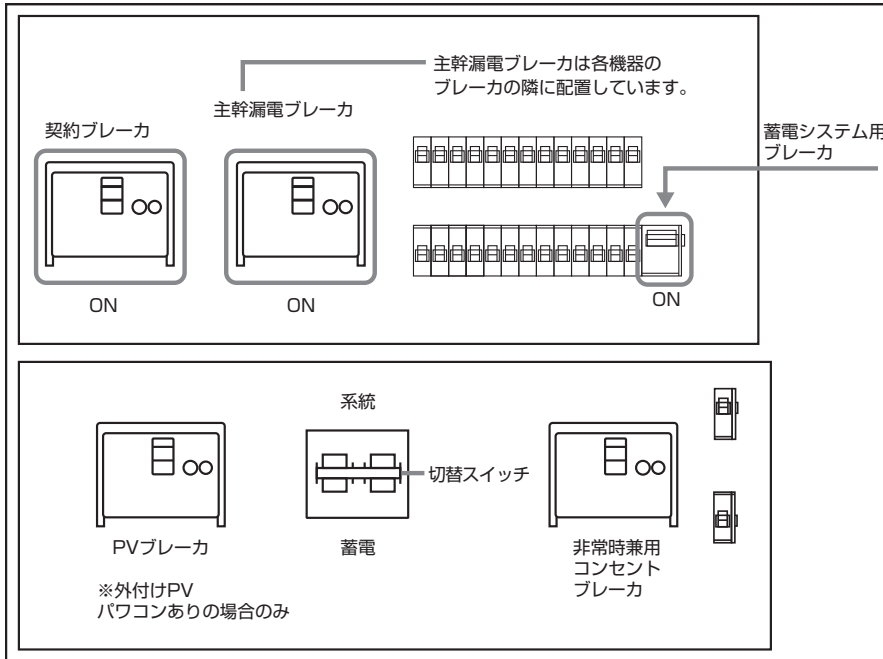
前の画面に戻り、非常時兼用コンセントに電気が供給されます。

長期不在の場合

蓄電システムを起動したまま不在する場合

長期不在となる場合は、運転モードを「経済モード」、もしくは「グリーンモード」に設定し、「契約ブレーカ」、「主幹漏電ブレーカ」、「蓄電システム用ブレーカ」は「ON」の状態を維持してください。

分電盤、ブレーカの配置例



メモ

- 非常時兼用コンセントに接続している家電製品含め、家電製品に電気を供給したくない場合は、住宅用分電盤内の個々のブレーカを「OFF」に、「切替スイッチ」を「蓄電」側から「系統」側に切り替えてください。
- 点検コードが出た状態で放置しないでください。過放電の状態となり、電池交換（有償）となることがあります。

蓄電システムを停止させて不在する場合

蓄電システムを長期間停止する場合は、過放電を防止するため、本製品内部の操作が必要となります。お客様は本製品内部を開けられず操作できません。お買い上げの販売会社に操作を依頼してください。

「過放電にご注意ください」

本製品は、太陽光発電パネルが発電すると、蓄電システムを自動で起動する制御がはたされますが、契約ブレーカや蓄電システム用ブレーカが「OFF」の場合は、制御中に蓄電池の充電が行えず、蓄電池が過放電の状態となり、電池交換（有償）となることがあります。

過放電を防止するために、蓄電システムおよび製品内部の操作、契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカは正しく操作する必要があります。お買い上げの販売会社に操作を依頼してください。

- 契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ、蓄電システム用ブレーカを長期間「OFF」にする、あるいは蓄電システムを長期間「運転停止」する必要がある場合は、お買い上げの販売会社に操作を依頼してください。
 - ① 蓄電システムを停止させる（49 ページ **1** ～ 50 ページ **7** 参照）。
 - ② 本製品内部の「PV 直流開閉器 1 ～ 3」を「OFF」にする。 ※お客様は操作できません。
 - ③ 契約ブレーカ・主幹漏電ブレーカを「OFF」にする。
- 上記操作後に、再度契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ、蓄電システム用ブレーカを「ON」にする、あるいは蓄電システムの起動を再開する場合は、お買い上げの販売会社に操作を依頼してください。
 - ① 契約ブレーカ・主幹漏電ブレーカを「ON」にする。
 - ② 本製品内部の「PV 直流開閉器 1 ～ 3」を「ON」にする。 ※お客様は操作できません。
 - ③ 蓄電システムを起動させる（51 ページ **1** ～ 52 ページ **7** 参照）

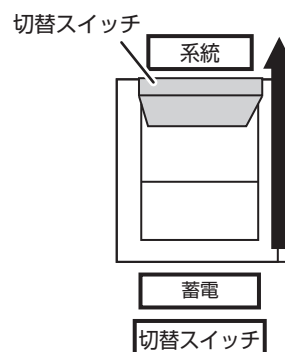
蓄電システムを停止させる場合

風水害により水没のおそれがある場合等、蓄電システムを停止させる場合は、下記手順に従って蓄電システムを停止させてください。

1 運転停止前確認

切替スイッチの切り替え時、非常時兼用コンセントに接続された家電製品への給電が一瞬遮断されますので、家電製品の電源を「OFF」にしてから切り替えを行ってください。

2 切替スイッチを「系統」側にする

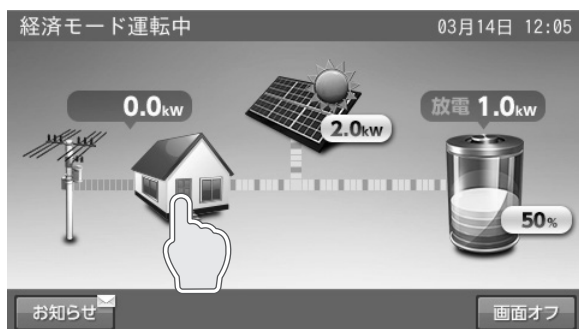


スイッチを上へ操作して、「系統」側に切り替えます。1回の切り替えでは、「中立」となるため、必ず、2回切り替えてください。

メモ

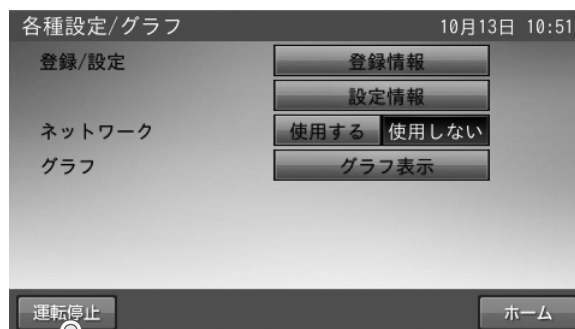
蓄電システムが停止すると、非常時兼用コンセントには給電されません。必ず、「系統」側に切り替えを行ってください。

3 家アイコンを「タッチ」する



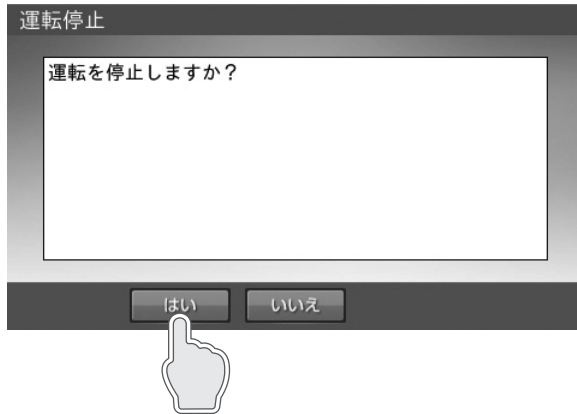
「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

4 「運転停止」をタッチする



運転を停止します。

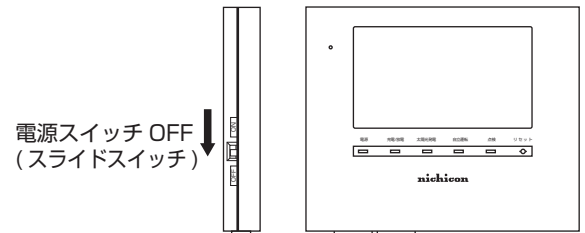
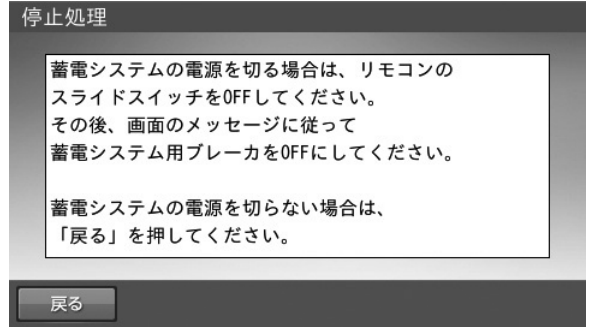
5 運転停止を確定した後「はい」をタッチする



メモ

「いいえ」をタッチすると、前の画面に戻ります。

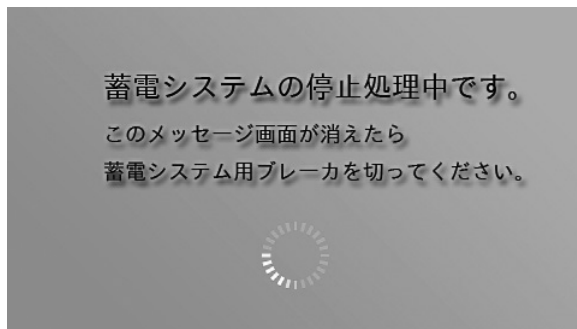
6 室内リモコンを OFF にする



メモ

蓄電システムを停止しない場合は、「戻る」をタッチしてください。「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。「運転開始」をタッチして、必ず運転状態にしてください。

7 蓄電システム用ブレーカを OFF にする

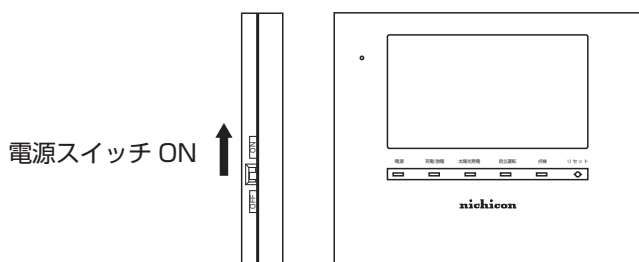


「蓄電システム用ブレーカ」を「OFF」にしてください。
「蓄電システム用ブレーカ」の位置は、48 ページを参照してください。

※ 蓄電システムを運転停止の状態に、放置しないでください。過放電の状態となり、電池交換（有償）となることがあります。蓄電システムを運転停止した際は、速やかに蓄電システムを起動させ、運転状態にしてください。（51 ページ）

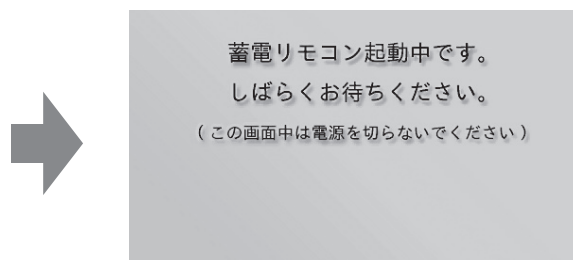
蓄電システムを起動させる場合

1 蓄電システム用ブレーカ・室内リモコンを ON にする



「蓄電システム用ブレーカ」および「室内リモコン」を「ON」にしてください。

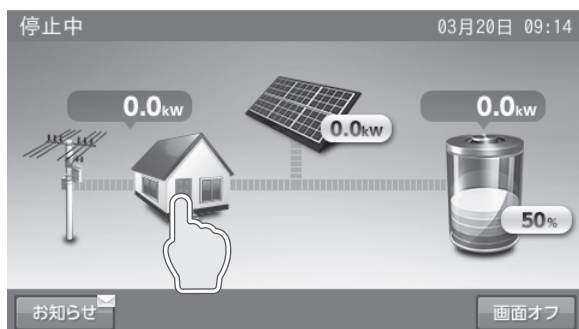
「蓄電システム用ブレーカ」の位置は、48 ページを参照してください。



メモ

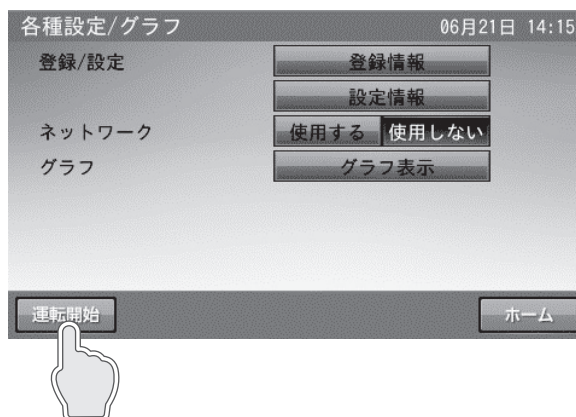
上記の画面表示中は、室内リモコンの電源を「OFF」にしないでください。

2 「家アイコン」をタッチする



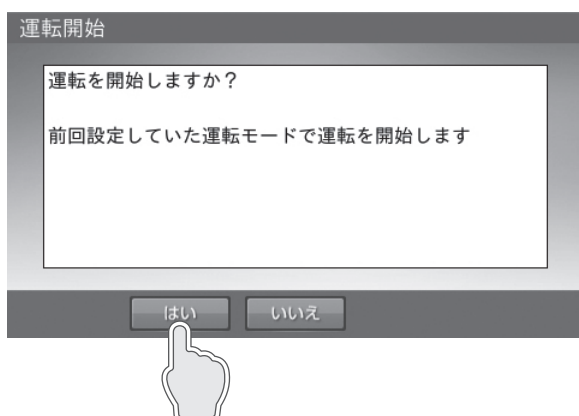
「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

3 「運転開始」をタッチする

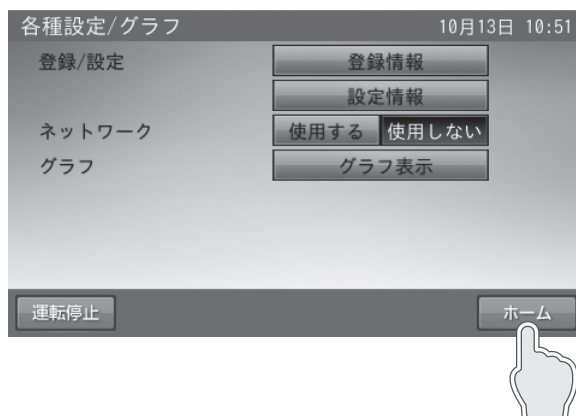


こんなときは

4 運転開始を確定した後「はい」をタッチする



5 「ホーム」をタッチする

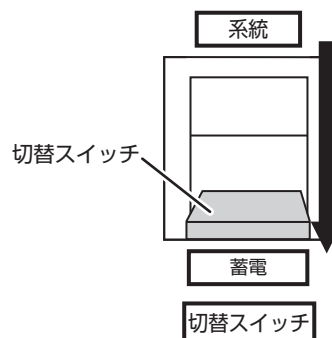


次ページへ続く

6 切替スイッチ操作前確認

切替スイッチの切り替え時、非常時兼用コンセントに接続された家電製品への給電が一瞬遮断されますので、家電製品の電源を「OFF」にしてから切り替えを行ってください。

7 切替スイッチを「蓄電」側にする



スイッチを下に操作して、「蓄電」側に切り替えます。1回の切り替えでは、「中立」となるため、必ず、2回切り替えてください。

メモ

切替スイッチが「システム」側のままの場合、停電時に非常時兼用コンセントが使えません。必ず、「蓄電」側に切り替えを行ってください。

蓄電システムを廃棄する場合

使用后、すみやかに廃棄してください。廃棄する場合は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。廃棄費用はお客様負担となります。

風水害または地震などの対応

- 風水害の水没のおそれがあるときは、あらかじめ蓄電システムの運転を停止させて、蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしてください。(49 ページ)
- 水没した場合は、蓄電システムを停止させた状態で、販売会社までご連絡ください。
- 地震により点検コードを発報している等の異常が発生した場合は、販売会社までご連絡ください。

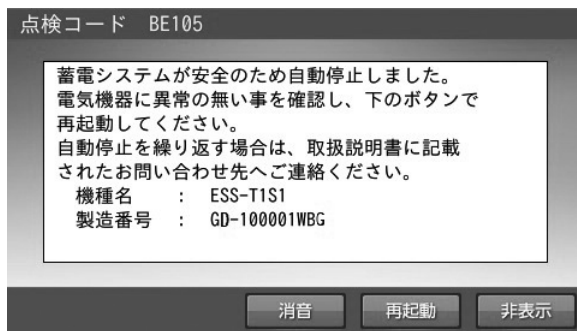
メモ

蓄電システム用ブレーカを「OFF」にした場合は、必ず切替スイッチを「システム」側にしてください。

点検コード (BExxx、BFxxx) が表示されたとき

点検コード「BExxx」、「BFxxx」は蓄電システムが何らかの原因で一時的に停止、または停止中をお知らせする点検コードです。上記「BExxx」、「BFxxx」の点検コードが表示されたときは、下表に従って処置してください。お買い上げの販売会社または弊社専用ダイヤルにご連絡いただく際は、画面に表示される機種名、製造番号、点検コードを合わせてご連絡ください。

■例：点検コードの画面



- [再起動] をタッチすると、蓄電システムを再起動します。
- [非表示] をタッチすると、30 秒間点検コードを非表示にします。
- [消音] をタッチすると、ブザー音が止まります。

メモ

点検コードが出た状態で放置しないでください。
過放電の状態となり、電池交換（有償）となることがあります。

点検コードの内容と処置

点検コード	処置
充放電時刻重複 充放電時刻が重複または開始時刻と終了時刻が重複しているため設定できません。	時間帯の重複がないように再設定してください。(24 ページ)
点検コード BExxx 蓄電システムが安全のため、自動停止しました。 電気機器に異常の無い事を確認し、再起動にタッチして蓄電システムを再起動してください。	自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
点検コード BE202 蓄電システムが安全のため自動停止しました。 電気機器に異常の無い事を確認し、下のボタンで再起動してください。 自動停止を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	掃除機、電子レンジ、ドライヤー、ヒーター等、消費電力の大きい機器のご使用はお控えください。
点検コード BE203 非常時兼用出力電力オーバー 非常時兼用コンセント / スイッチの接続機器が規定電力を超えたため、給電を停止しました。 接続機器を減らした後、再起動にタッチして蓄電システムを再起動してください。	
点検コード BFxxx 蓄電システムが自動停止しました。 安全確認後、自動的に復帰します。	自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
点検コード BF517 日時設定をお願いします 停電のため、日時の設定がクリアされました。	メッセージに従い、日時設定を行ってください。(44 ページ)
点検コード BF550 蓄電システムが自動停止しました。 安全確認後、自動的に復帰します。	自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

点検コード「BF405」について

蓄電池ユニット内の温度センサーが -5°C 未満または $+55^{\circ}\text{C}$ 以上を検知すると、室内リモコンに下記メッセージを表示します。 0°C 以上または $+50^{\circ}\text{C}$ 未満になると自動的に復帰するため、エラー解除の操作は必要ありません。蓄電池ユニットの周りに放熱を妨げる毛布などが覆いかぶさっていないか確認してください。

メッセージ

「点検コード BF405 蓄電システムが自動停止しました。安全確認後、自動的に復帰します。自動停止を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。」

点検コード「BF404」について

点検コード「BF404」は、蓄電池残量が0%よりさらに低下した場合にお知らせします。

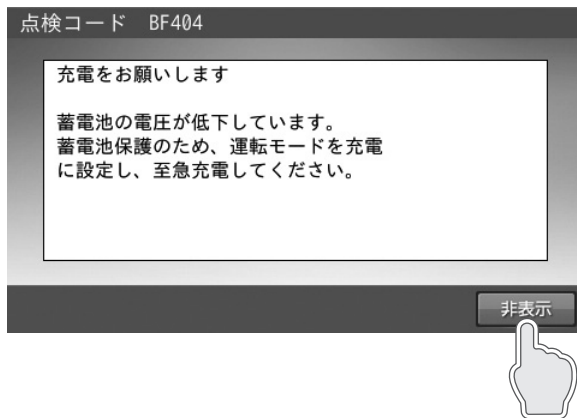
通常時に発報した場合

室内リモコン画面の「非表示」をタッチして、メッセージを閉じます。

「経済モード」、「グリーンモード」が設定されている場合は、充電時間帯に自動で充電を行います。

メモ

グリーンモードを選択していても、発報した場合は、太陽光の余剰充電が不足している場合があります。その場合は、充電時間帯を長めに設定するなどして、充電が十分確保できるようにしてください。

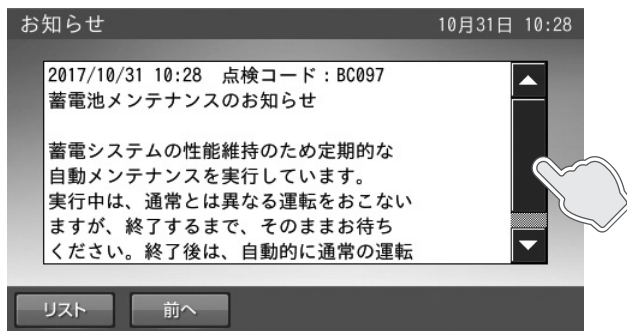


停電後の復電時に発報した場合

「停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合」(46 ページ)に従ってください。

点検コード (BCxxx) が表示されたとき

■例：お知らせの画面



お知らせの内容の文字数が多い場合は、画面右側に▼／▲とその間に■が表示されます。

▼／▲をタッチすると、表示内容を上下に移動させることができます。

また、■をタッチしながら上下に移動させると、すばやく表示内容を上下に移動させることができます。

メモ

お知らせ以外でも画面右側に▼／▲と■が表示された場合は、同じ操作方法になります。

お知らせのメッセージ内容は、点検コード以外に以下の内容があります。

お知らせリモコンメッセージと内容

お知らせ リモコンメッセージ	内容
点検コード BC096 運転停止中 運転が停止されました。	蓄電システムが停止となった場合に記録されます。
点検コード BC097 蓄電池メンテナンスのお知らせ 蓄電システムの性能維持のため、定期的な自動メンテナンスを実行しています。実行中は、通常とは異なる運転を行います。終了するまでそのままお待ちください。終了後は、自動的に通常の運転モードに戻ります。	自動メンテナンス実行時に記録されます。メンテナンスモードについては57ページを参照してください。
点検コード BC417 蓄電システム点検 蓄電システムの点検が必要です。 取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へお早めにご連絡ください。	蓄電池の充電可能容量が50%を下回った場合に記録されます。そのままご利用可能ですが、保証書記載内容を満たしている場合は、無償交換を行います。お買い上げの販売会社にご連絡ください。
点検コード BC551 もしくは BC562 ネットワーク通信に障害が発生しております。 ネットワーク配線、ルータ設定などをご確認ください。 この点検メッセージが続く場合は、取扱説明書の説明に従って本リモコンをリセットしてください。	ネットワーク通信に障害がある場合に記録されます。 ネットワーク配線、ルータ設定、室内リモコンのネットワーク設定を確認してください。
点検コード BC554 リモコンのソフトウェアを更新しました。	インターネット経由で室内リモコンのソフトウェアが更新された場合に記録されます。そのままご利用ください。
点検コード BC094 パワーコンディショナのソフトウェアを更新しました。	インターネット経由でパワーコンディショナのソフトウェアが更新された場合に記録されます。そのままご利用ください。
点検コード BC556 リモコンをシャットダウンしました。	室内リモコンの電源スイッチを「OFF」に設定した場合に記録されます。
点検コード BE000 お知らせが解除されました。	お知らせが必要な状態から、お知らせの必要が無い状態に移行した場合に記録されます。
点検コード BC565 電力会社サーバ通信に障害が発生しております。 ネットワーク配線、ルータ設定等をご確認ください。 この点検メッセージが表示された場合は取扱説明書をご確認ください。	お知らせが必要な状態から、お知らせの必要が無い状態に移行した場合に記録されます。

室内リモコンが動かなくなった時

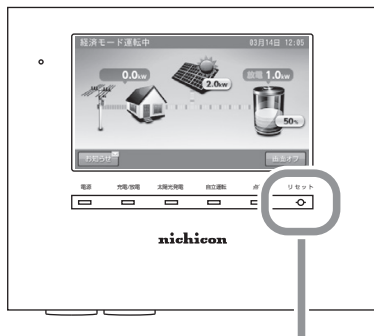
室内リモコンのマイコンをリセットすることができます。

室内リモコンが動かなくなったときにのみ、以下の手順に従ってください。

1 電源スイッチを OFF にする

メモ

- 数秒で室内リモコンが OFF 状態になった場合は、「リセット」ボタンを押す必要はありません。
- 電源が OFF にならなかった場合は、電源スイッチを OFF にしたままの状態ですぐペン先などで「リセット」ボタンを押してください。



ペン先などでリセットボタンを押す

2 リセット後、電源スイッチを ON にする

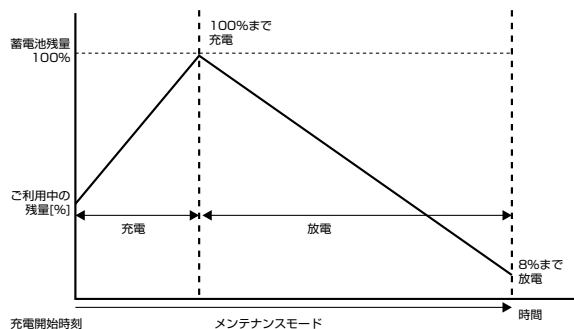
メモ

- 電源スイッチが OFF のとき、蓄電システムは運転を停止します。
- 電源スイッチは、長期間 OFF にしないでください。電源スイッチが OFF のまま放置されると、過放電の状態となり、電池交換（有償）となることがあります。
- 室内リモコンの電源スイッチが「ON」の状態ですぐ「リセット」ボタンを押しても、室内リモコンのリセットは行いません。

蓄電池のメンテナンスモードについて

メンテナンスモードとは、蓄電池を自動的に点検するモードです。

「蓄電池ユニットの充放電時刻を設定する」(24 ページ) で設定されている充電開始時刻から蓄電池残量が 100% になるまで充電を行い、その後、時間帯に関係なく、設定している自動運転モードで蓄電池残量 8% まで放電を行います。放電後、メンテナンスモードは完了し、自動運転モードに戻ります。

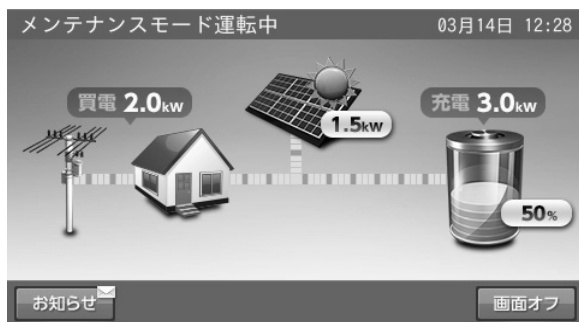


メンテナンスモード動作イメージ

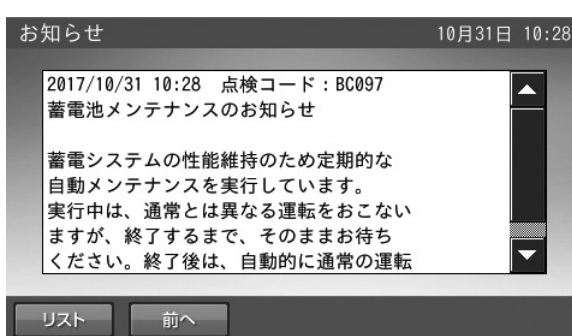
蓄電システムの性能維持のために、年 1 回 (6 月) 自動でメンテナンスモードを実行します。

メンテナンスモード実行時に「お知らせ」をタッチすると、室内リモコンに内容が表示されます。

例：メンテナンスモード運転中のホーム画面



例：お知らせの画面



メンテナンスモード実施日

- メンテナンスモードは 6 月 15 日～ 30 日の期間内で実施されますが、パワーコンディショナの製造番号により実行日が異なります。実行日は下記方法で算出することができます。

算出方法：パワーコンディショナ製造番号の数字部分下 2 桁 ÷ 16 の余りに +15

(算出例)

- ・ GD-100002WBG (パワーコンディショナ製造番号) : $02 \div 16 = 0$ 余り 2 $\Rightarrow 2 + 15 = 17 \Rightarrow$ 6 月 17 日に実行
- ・ GD-100052WBG (パワーコンディショナ製造番号) : $52 \div 16 = 3$ 余り 4 $\Rightarrow 4 + 15 = 19 \Rightarrow$ 6 月 19 日に実行

- 9 月に再実行となった場合は、9 月 1 日～ 16 日の期間内で実施され、実行日は下記方法で算出することができます。

算出方法：パワーコンディショナ製造番号の数字部分下 2 桁 ÷ 16 の余りに +1

(算出例)

- ・ GD-100004WBG (パワーコンディショナ製造番号) : $04 \div 16 = 0$ 余り 4 $\Rightarrow 4 + 1 = 5 \Rightarrow$ 9 月 5 日に実行
- ・ GD-100038WBG (パワーコンディショナ製造番号) : $38 \div 16 = 2$ 余り 6 $\Rightarrow 6 + 1 = 7 \Rightarrow$ 9 月 7 日に実行

メモ

パワーコンディショナ製造番号については、「登録情報を確認・変更する」を参照してください。(36 ページ)

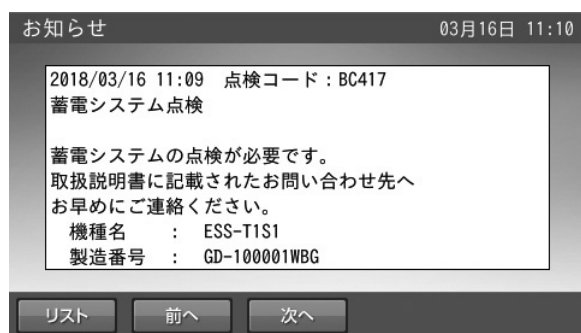
メンテナンスモード停止条件

- 蓄電池ユニットの運転モードを手動の「充電」または「放電」に変更した場合
- 点検コード発報した場合 (BExxx または BFxxx)
- 停電が発生した場合
- 蓄電池温度が 10 °C 未満、または 55 °C 以上の場合

メモ

メンテナンスモードが連続して停止されると、正常に動作しなくなる場合があります。

<蓄電池容量低下メッセージ：蓄電池容量が 50 % を下回ったことをお知らせします>。



保証期間中に、「お知らせ」をタッチして、上図のメッセージが表示された場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

メモ

- ご家庭の消費電力が少ない場合は、メンテナンスモードが終了するまで数日かかることがあります。
- メンテナンスモード完了のためには、家庭内で最低 100 W 以上の電力消費が必要です。

ソフトウェアの更新

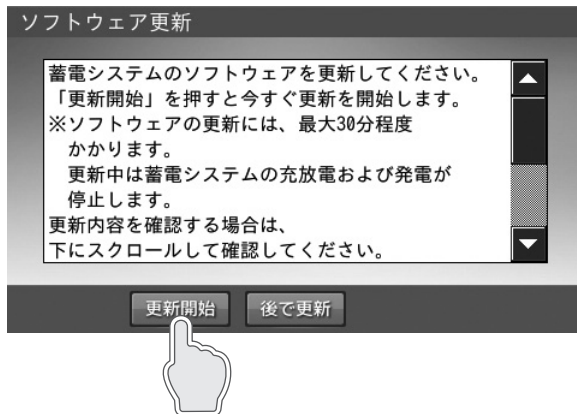
ソフトウェアの更新方法

ソフトウェアの更新が必要な場合は、ソフトウェア更新画面を表示します。画面の指示に従って操作し、必ず更新してください。

メモ

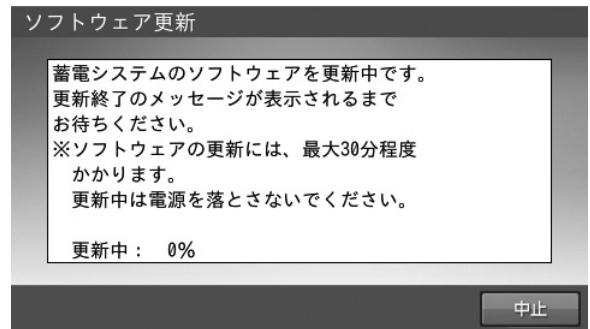
更新中は、本システムの充放電および太陽光発電を停止します。
更新には、数分から最大 1 時間程度かかる場合があります。

1 「更新開始」をタッチする



※更新内容によっては、本画面を表示せず自動的に更新が始まる場合があります。

2 更新中の画面が表示される

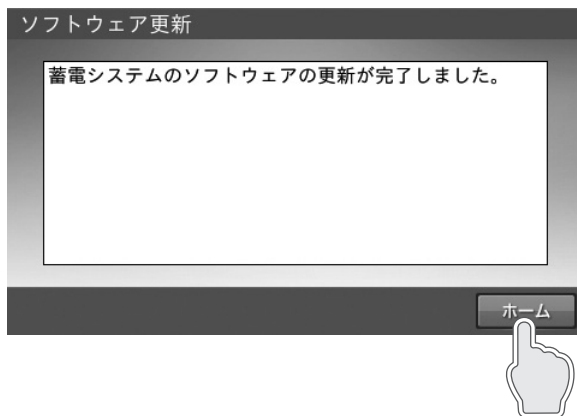


そのままお待ちください。

メモ

- 更新作業終了後、自動的に室内リモコンが再起動します。
- 再起動しても、運転モードや充放電開始時刻などの設定項目は再起動前の状態を維持しますので、再設定の必要はありません。

3 「ホーム」をタッチする

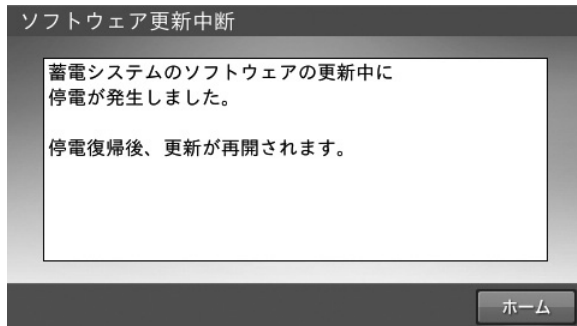


ホーム画面に戻ります。

※更新内容によっては、本画面を表示しない場合があります。

更新中に停電した場合

1 ソフトウェア更新中断画面が表示される

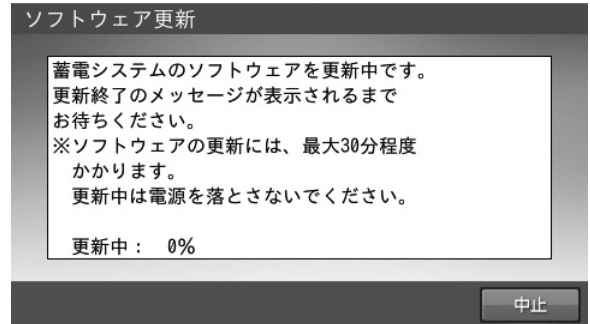


メモ

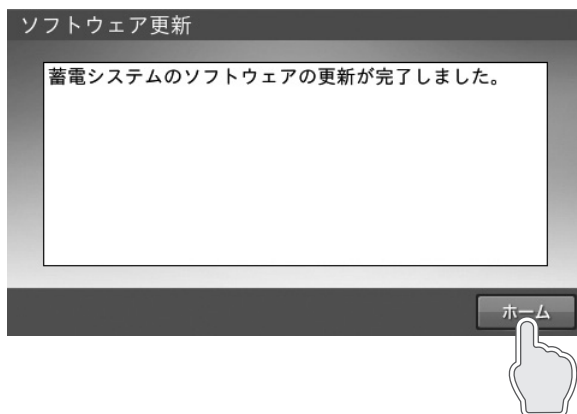
ソフトウェア更新には蓄電ユニット（パワーコンディショナ）用のソフトウェアの更新と、室内リモコン用のソフトウェアの更新がありません。

室内リモコン更新の場合は、更新中に停電してもソフトウェア更新中断画面は表示されません。

2 停電復電後、しばらくしてソフトウェア更新画面が表示され自動的に更新作業を再開する



3 「ホーム」をタッチする



ホーム画面に戻ります。

保証とアフターサービス

保証について

保証については、保証書の内容をよくお読みください。

弊社または販売会社からお渡ししますので、必ず販売会社名、引渡日等の記入をお確かめになり大切に保管してください。

注：上記の記載がない場合には無効となることがあります。

アフターサービスについて

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、販売会社にお問い合わせください。販売元専用ダイヤルがご利用いただけない場合は、下記のニチコンサービスセンターまたはお客様窓口にご連絡ください。

修理を依頼される時

修理を依頼される場合は、次のことをご確認ください。

- お買い上げ時期
- 装置の型式と製造番号（装置側面の定格ラベルに表示）
- 故障の状況（点検コード、故障発生時の時間と天候など）

補修用性能部品の最低保有期間 / 修理対応期間

- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 装置の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後、保証書記載の保証期間相当年数となります。
- 修理対応期間は、保証期間と同一期間とさせていただきますが、保証期間を過ぎていても修理可能な製品については、有料にて修理いたします。

移設などで機器を一時保管される場合は屋内（湿気の少ないところ）に保管してください

お客様ご自身では移設を行わないでください。

故障した場合の連絡先	ニチコン株式会社サービスセンター 電話 : 03-5212-9211 ファックス : 03-5211-2153 平日 : 9時～20時 土・日・祝日・休業日 : 9時～18時
製品の使用方法などに関するお問い合わせ先	ニチコン株式会社お客様窓口 電話 : 0120-215-086 メール : info-ess@nichicon.com 平日 : 9～17時 土・日・祝日・休業日は除く

補助金に関するご注意

購入時に補助金の交付を受けた方

設置時から一定期間の使用が義務付けられています

補助金の支給を受けて本製品を購入した場合は、設置時から一定期間本製品を適正にご使用していただく必要があります。設置時から期間内に修理が必要になった場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

遠隔出力制御ルールに関するご注意

本製品は、2015年1月22日公布の再生可能エネルギー特別措置法施行規制の一部を改正する省令と関連告示に対応する機器です

再生可能エネルギーを最大限導入するために、電力会社の求めがあった場合は、遠隔出力制御を行う機器の設置が義務づけられました。

省令改正に関して詳しくは、経済産業省のホームページをご参照ください。(http://www.meti.go.jp/)

なお、遠隔出力制御は地域により対応が異なります。また、遠隔出力制御は電力会社の要請により実施されますので、詳しくは、各電力会社にお問い合わせください。

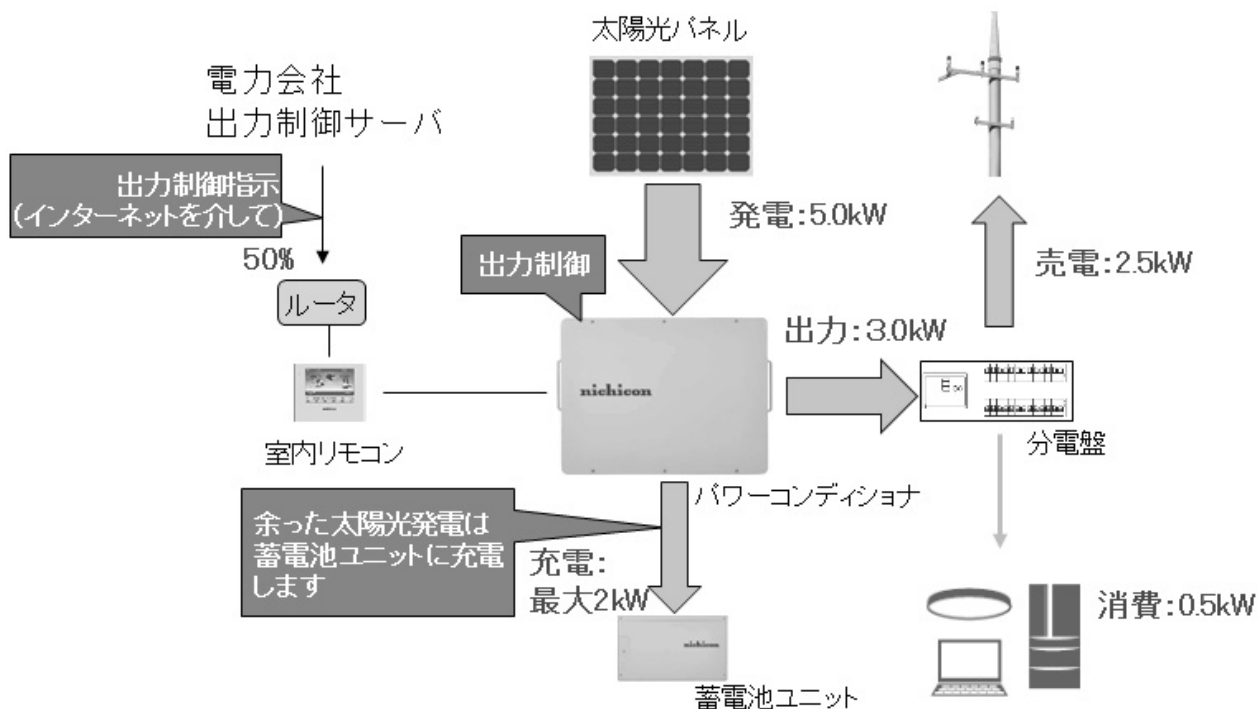
本製品は、電力会社の遠隔出力制御を有効にするために、インターネットへの接続が必要です

インターネットへの接続はお客様のネットワーク環境を利用します。インターネット回線契約・利用に伴う費用はお客様のご負担となります。

また、今後正式発表される遠隔出力制御の仕様によっては、機器のソフトウェア更新の他に、有償での対応作業が必要となる場合があります。

詳しくは、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。

例：出力制御指示が50%の場合



出力制御により売電できない発電電力は、蓄電池ユニットが充電できる状態であれば、自動的に充電を行います。

非常時兼用コンセントに接続できる家電製品

■ 本製品の自立運転の定格出力は 2.0 kVA です。太陽光発電が 3 kW 以上発電している場合は、3.0 kVA まで出力することができます。

ただし、自立運転の出力電力の一部は家電製品には供給されませんので、実際に供給できる電力はさらに小さくなります。使える電力は約 1500 W です。

● 非常時兼用コンセントに、以下の機器は絶対に接続しないでください。

・ 生命維持に必要な医療機器

→ 自立運転時に、これらの機器が誤動作し、生命維持に重大な影響をおよぼすおそれがあります。

・ 大切なデータが保存されているデスクトップ PC など、途中で電源が切れると重大な支障をきたす機器

→ 自立運転時に、データが破損、消失するなどのおそれがあります。

● その他、自立運転を行う際には、下記の点にご注意ください。

・ 自立運転時に、突入電流が大きいまたは、消費電力が大きい機器を接続すると、その機器の起動時に瞬間的に大電流が流れ電圧が大きく低下し、非常時兼用コンセントに接続されている他の家電製品が停止後すぐに再起動する場合があります。

【接続禁止または注意が必要な機器の例】

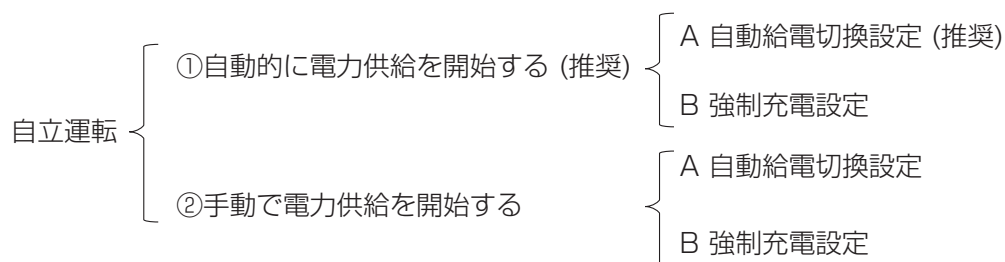
- ・ 自然冷媒ヒートポンプ給湯器（エコキュート）は、消費電力が大きく給湯できないおそれがあるため、非常時兼用コンセントに接続しないでください。
- ・ 消費電力の大きい電磁調理器（IH 調理器）は、使用できないおそれがあるため、非常時兼用コンセントに接続しないでください。
- ・ センサー機能や調光機能がある照明は、ちらつく場合や、動作しない場合があります。
- ・ 動作電流が大きい家電製品や業務用機器などは自立運転切り替え時に動作しなかったり、過電流保護が働いてしまう可能性があります。
- ・ 電熱機器など発煙、発火、火災を引き起こすおそれのある家電製品の扱いについては、下記の「自立運転の動作方法」を参照してください。
- ・ 蓄電池残量がゼロの状態ですべて自立運転に移行した場合、出力は太陽光発電電力に依存するため、定格値まで出力できないことがあります。その場合、非常時兼用コンセントに十分な電力が供給できず、家電製品が停止、または蓄電システムの安全装置が作動し、室内リモコンにメッセージを表示して、非常時兼用コンセントへの給電を停止する場合があります。そのような場合は、接続している家電製品を減らして、再起動してください。

■ 非常時兼用コンセントの一時的な電源 OFF について

非常時兼用コンセントの電源は、通常→停電時に約 2 秒間、停電→復電してから 5 分後に約 3 秒間、電源が OFF します。

■ 自立運転の動作方法

自立運転は 4 通りの動作方法があります。



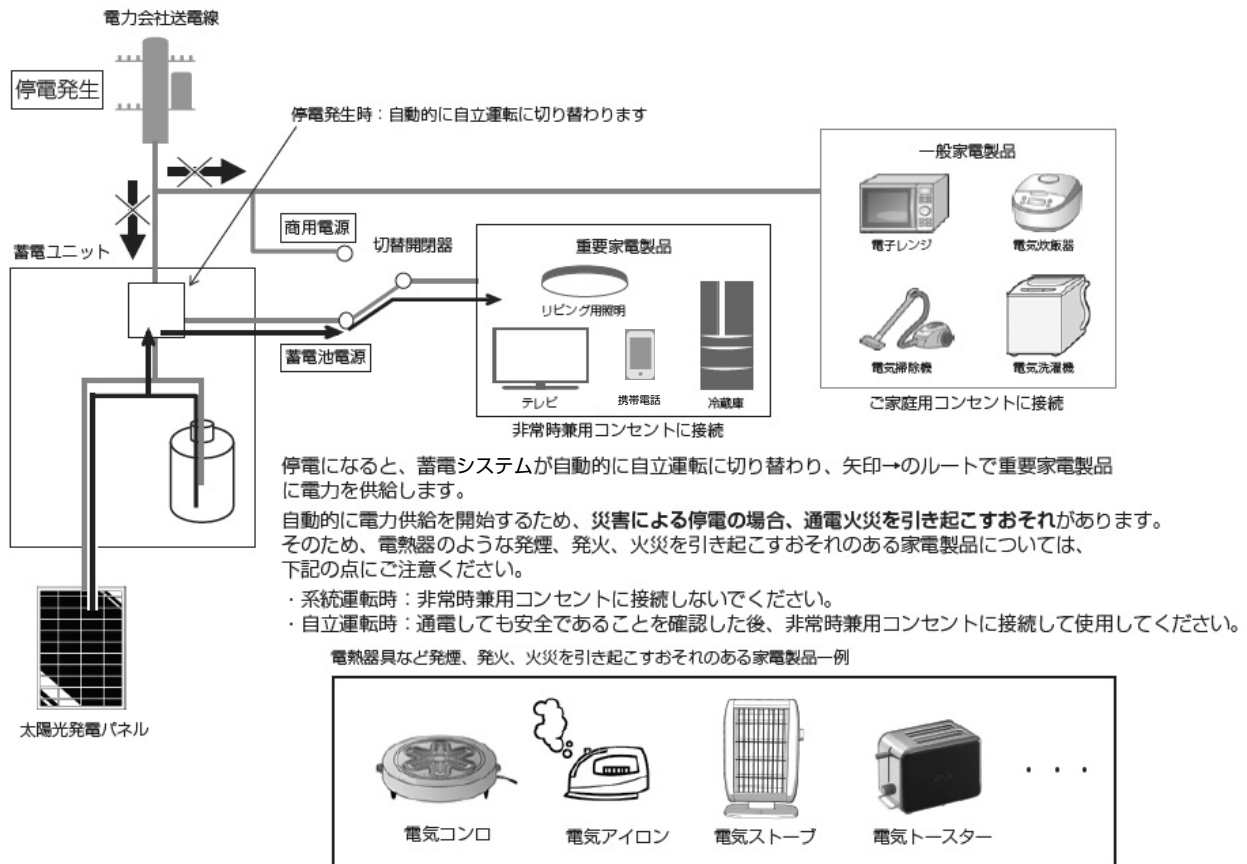
補助金に関するご注意
遠隔出力制御ルールに関する
ご注意
非常時兼用コンセントに接続できる家電製品

次ページへ続く

① 自動的に電力供給を開始する

常時、切替スイッチを「蓄電」側にしておいてください(推奨)

- 切替スイッチを「蓄電」側にする。
- 「設定情報」 - 「停電時出力」 - 「自動」に設定する。
- 「非常時設定」 - 「非常時運転モード」 - 「自動給電切換」に設定する。



※蓄電池ユニットがない、または蓄電池残量がない場合は、太陽光が発電しないと、非常時兼用コンセントに電力が供給できません。

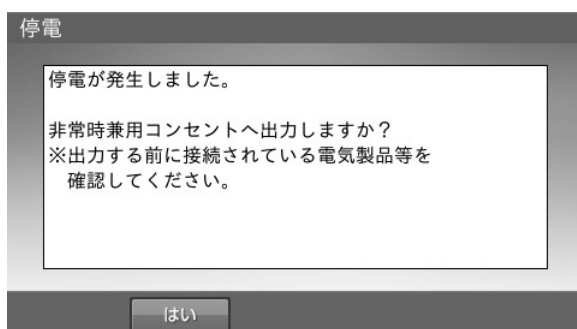
② 手で電力供給を開始する

常時下記の設定にしてください。

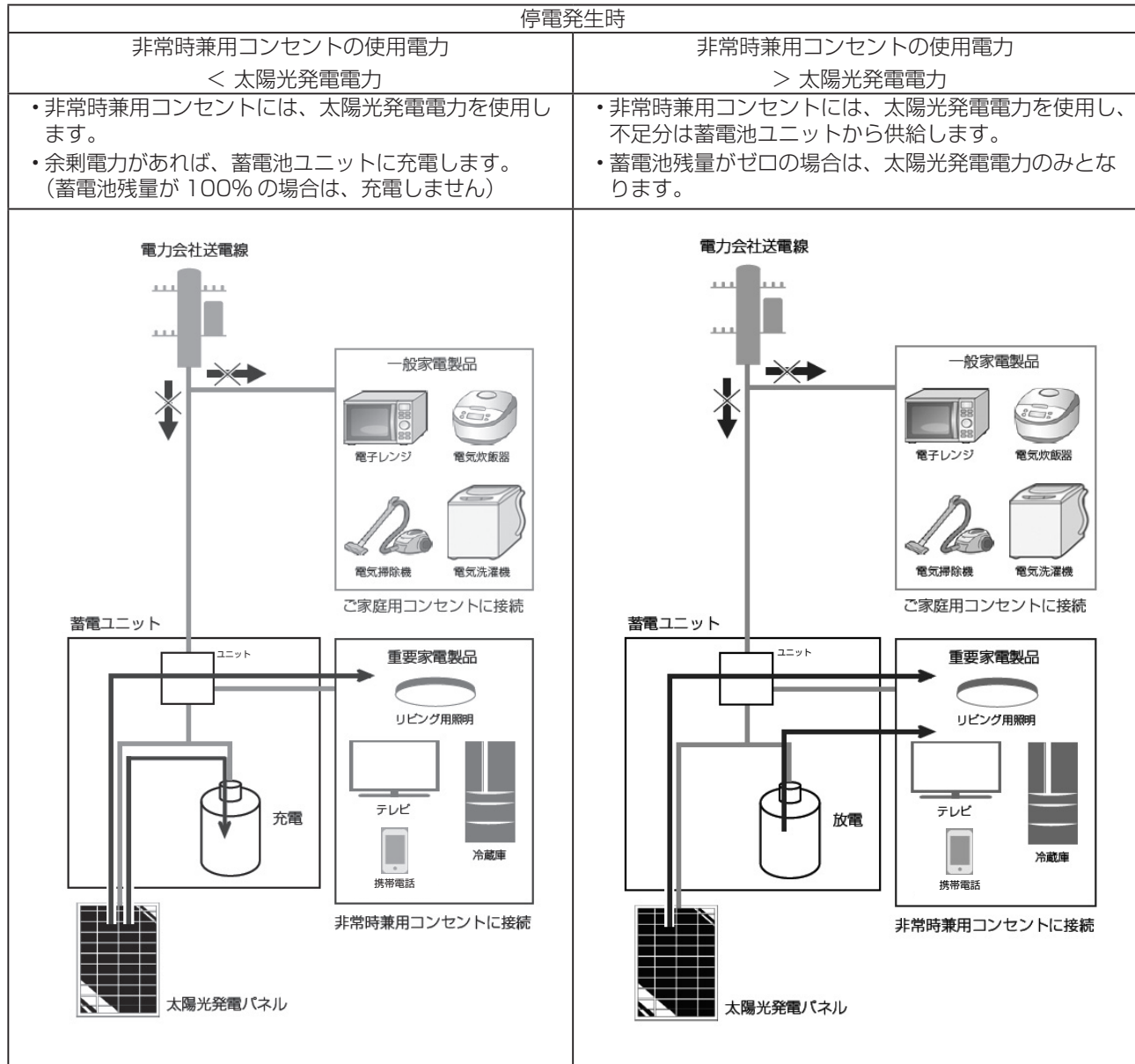
- 切替スイッチを「蓄電」側にする。
- 「設定情報」 - 「停電時出力」 - 「手動」に設定する。
- 「非常時設定」 - 「非常時運転モード」 - 「自動給電切換」に設定する。

停電になると、蓄電システムは自動的に自立運転に切り替わり、下図停電をお知らせする画面を表示しますが、非常時兼用コンセントには電力が供給されません。非常時兼用コンセントに接続している家電製品に通電しても安全であることを確認した後、下図画面上の「はい」をタッチしてください。

「はい」をタッチすると、非常時兼用コンセントへの電力供給を開始します。



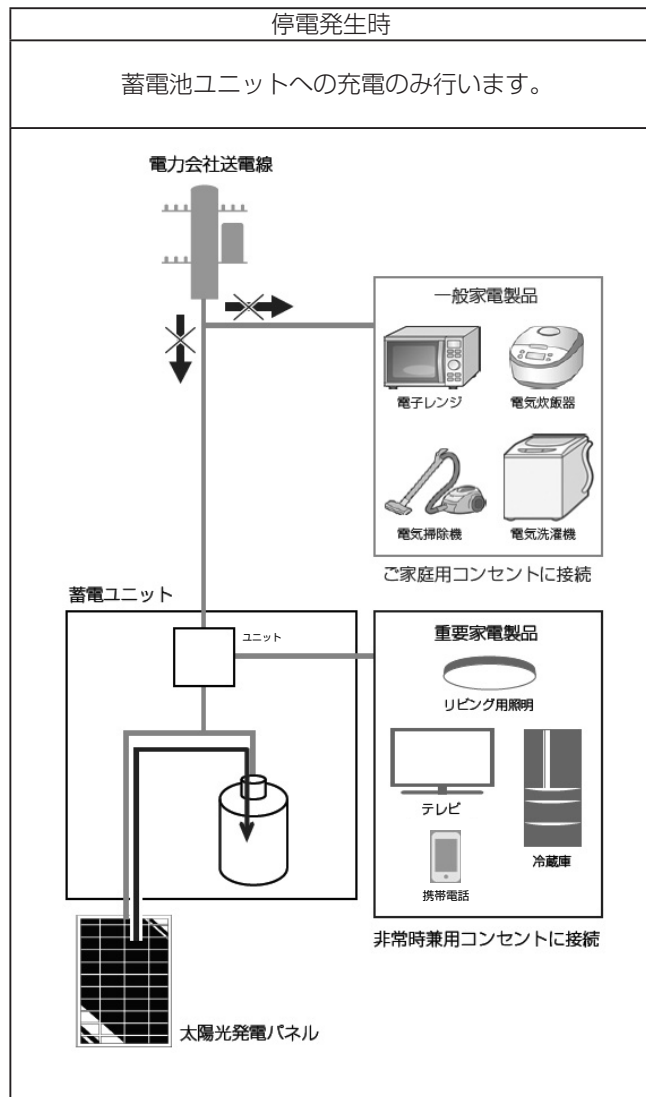
A 自動給電切換設定 → 太陽光発電電力と非常時兼用コンセントでの電力使用量を判断しながら、お客様の使用状況に合った切り替えを自動で行います（推奨）



- ※停電中、外付け太陽光発電電力を本システムに利用することはできません。
- ※蓄電池ユニットがない場合は、余剰電力を充電することはできません。
- ※蓄電池ユニットがない場合は、太陽光が発電しないと、非常時兼用コンセントに電力が供給できません。

B 強制充電設定 → 太陽光発電電力から蓄電池への充電のみ行います。

※非常時兼用コンセントへの給電は一切行われません



※停電中、外付け太陽光発電電力を本システムに利用することはできません

※蓄電池ユニットがない場合は、充電することはできないため、本モードを選択しないでください。

仕様

パワーコンディショナ ESS-T1

外形寸法	パワーコンディショナ	W727 × H560 × D257 mm(取付金具、突起部含まず)
本体質量	パワーコンディショナ	42 kg(取付金具含まず)
系統連系出力	電気方式	単相 2 線式 (接続は単相 3 線式)
	定格出力	5.9 kW ± 5 % (蓄電池のみ 2.0 kW)
	定格出力電圧	AC202 V
	出力電圧範囲	AC202 V ± 20 V
	定格周波数	50 または 60 Hz
	定格力率	0.95
	電流歪率	総合電流歪率 5 %、各次電流歪率：3 % 以下 (定格出力時)
自立出力	電気方式	単相 2 線式
	定格出力	3.0 kVA ± 5 % (蓄電池利用時 2.0 kVA)
	定格出力電圧	AC101 V
	出力電圧範囲	AC101 V ± 6 V
	定格周波数	50 または 60 Hz
インバータ	変換方式	連系運転時：自励式電圧型電流制御方式 自立運転時：自励式電圧型電圧制御方式
	スイッチング方式	正弦波 PWM 方式
太陽光発電入力	接続方式	マルチストリング方式
	制御方式	最大電力点追従制御 (MPPT)
	入力回路数	3 回路
	定格入力電圧	DC380 V/1 回路
	入力運転電圧範囲	DC50 V ~ 450 V/1 回路
	MPPT 制御可能電圧範囲	DC70 V ~ 390 V/1 回路
	最大入力電流	13.5 A/1 回路
	最大入力電力	2.2 kW/1 回路、6.6 kW/3 回路
	PV ストリング開放電圧	DC450 V 以下 /1 回路
変換効率 (系統連系時)	太陽光	定格出力時：95 %
	蓄電池	定格出力時：94 %
定格出力可能時間	系統連系時 (4 kWh)	110 分
	自立出力時 (4 kWh)	105 分
	系統連系時 (8 kWh)	225 分
	自立出力時 (8 kWh)	215 分
絶縁方式		非絶縁トランスレス方式
冷却方式		強制空冷方式
不要輻射		VCCI class B 準拠
運転時騒音		40 dB-A 以下
設置環境	設置条件	パワーコンディショナ：屋外、標高 2,000 m 以下 (-30 ~ +40℃)
	動作温度	パワーコンディショナ：-20 ~ +40℃

蓄電池ユニット ESS-BS

外形寸法	W572 × H349 × D239 mm	
本体質量	51 kg	
蓄電池公称容量	4.0009 kWh	
蓄電池初期実効容量	3.8 kWh(JEM 1511 による)	
電池種類	リチウムイオン蓄電池	
電池セル定格容量	2.8 Ah	
放電深度	100 %	
電池構成	1 モジュールあたり 28 直 7 並、全 2 モジュール直列構成	
蓄電池定格電圧	DC 203.84 V	
蓄電池定格入力動作電圧範囲	DC 168 V ~ DC 224 V	
設置環境	設置条件	室内 (-10 ~ 40℃)
	動作温度	0 ~ +40℃ (結露無きこと)

増設蓄電池ユニット ESS-BM

外形寸法	W572 × H349 × D239 mm	
本体質量	50 kg	
蓄電池公称容量	4.0009 kWh	
蓄電池初期実効容量	3.8 kWh(JEM 1511 による)	
電池種類	リチウムイオン蓄電池	
電池セル定格容量	2.8 Ah	
放電深度	100 %	
電池構成	1 モジュールあたり 28 直 7 並、全 2 モジュール直列構成	
蓄電池定格電圧	DC 203.84 V	
蓄電池定格入力動作電圧範囲	DC 168 V ~ DC 224 V	
設置環境	設置条件	室内 (-10 ~ 40℃)
	動作温度	0 ~ +40℃ (結露無きこと)

室内リモコン ESS-R5

外形寸法	W170 × H140 × D23 mm	
本体質量	320 g	
設置環境	室内リモコン：室内 (0 ~ 40℃)	
動作温度	室内リモコン：0 ~ +40℃ (結露無きこと)	

ソフトウェアライセンスについて

Ubiquitous ECHONET Lite ライセンス

本製品は、株式会社ユビキタス AI コーポレーションが権利を保有するソフトウェアプログラム Ubiquitous ECHONET Lite を使用しております。

Ubiquitous ECHONET Lite
Copyright© Ubiquitous Corp. All rights reserved.

GPL/LGPL のライセンス

本製品は、一部に GPL/LGPL の適用オープンソースを使用しており、これらのオープンソースに限っては、GPL/LGPL の定めに従い、入手、改変、再配布の権利がお客様にあることをご知らせします。オープンソースとしての性格上、著作権による保証はなされておきませんが、本製品については保証書記載の条件により、弊社による保証がなされています。

GPL/LGPL のライセンスについては、https://www.nichicon.co.jp/products/ess/user_support.html#anc01 をご覧ください。

増設設置の可能期間

パワーコンディショナ設置後の蓄電池ユニット、増設蓄電池ユニット、V2Hスタンドの追加設置は、2028年5月まで可能です。
(同等品の商品ご提供となる場合があります。)

保証期間は、各商品の保証期間となります。

nichicon

京都市中京区烏丸通御池上る 〒604-0845

<https://www.nichicon.co.jp>